

「2023年卒学生の就職活動の実態に関する調査」

公益社団法人全国求人情報協会の専門部会である「新卒等若年雇用部会」は、調査・研究活動の一環で、民間企業・団体への就職活動を経験した全国の大学4年生・大学院2年生を対象とするアンケート調査を実施し2023年卒学生の就職活動実態をまとめましたので、ご報告します。※スケジュールの詳細はP54に掲載しております。

TOPICS

- 民間企業・団体への就職活動を経験した大学生・大学院生の9割以上が3月時点で進路を確定。2022年卒に比べて民間企業への就職確定者がやや増加している。(P2)
- 就職確定者の就職予定先への納得度は、大学生・大学院生ともに9割前後で、引き続き高水準。(P3)
- 就職予定先に「勤続志向」だった学生は、大学生は7割後半、大学院生は8割半ばで2022年卒と同水準。(P4)
- 就職予定先の従業員規模は、大学生は「300人～999人」、大学院生は「300人～999人」「5,000人以上」の割合が増加。(P9)
- 大学生・大学院生ともに「当初から第1志望(群)だった」の割合が最高であり、2022年卒より増加。(P11)
- 就職活動の実施期間は2022年卒と比べると、大学生・大学院生ともに6カ月以内がやや減少。(P15)
- 就職予定先に「勤続志向」の学生は、「転職志向」の学生と比べて「自己分析に関するガイダンス・セミナー」が役立ったと評価している割合が高い。(P32)
- インターンシップ・1day仕事体験参加時期は、大学生で「大学3年生8月」の割合が最も高い。(P40) 初めて参加した時期は大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年の8月頃」の割合が最も高い。(P41)

CONTENTS

①卒業後の進路確定状況…………… 2	⑩就職予定先を選ぶ際の重視点…………… 25
②就職予定先への納得度…………… 3	⑪在学中に実施したこと…………… 26
③就職予定先への就業意向…………… 4	⑫就職活動による各活動への支障状況…………… 27
④就職予定先への評価…………… 5	⑬自己分析・企業研究等への自己評価…………… 28
⑤就職予定先の企業状況…………… 7	⑭就職予定先に対するイメージ…………… 30
⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間…………… 12	⑮大学・大学院の就職支援で役立った点…………… 32
⑦就職活動の各プロセスの活動量…………… 16	⑯自己分析・企業研究等への自己評価…………… 34
⑧知りたかった情報、知ることができた情報…………… 21	⑰従業員規模の志向…………… 36
⑨就職予定先に関する情報源…………… 23	⑱インターンシップ・1day仕事体験の参加状況…………… 40

●調査の概要

- 1) 調査目的: 大学生や大学院生の就職活動の実態を把握し、関係各位の参考に供する。
- 2) 調査対象: 民間企業・団体への就職活動を在学中に経験した(*全国の大学4年生・大学院2年生1,751人 *就職活動の経験者を、プレントリー(資料・採用情報の請求)、説明会、書類選考、対面選考のいずれか1つ以上の経験者と定義した。当該の条件を満たす1,688人で集計を実施。
- 3) 調査期間: 2023年3月9日～30日
- 4) 調査方法: インターネット調査(調査実施機関:株式会社マクロミル)ーマクロミル社のモニターにスクリーニング調査を行って対象者を抽出し、学校種別、性別、専攻系統(文理)の構成比が母集団に近づくよう、「文部科学省学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行った。

「地域区分の内訳・調査集計の留意点」
P54「調査備考」を参照のこと。

<回収数> (人)

大学生	1,536
文系	1,025
国公立	127
私立	898
理系	511
国公立	150
私立	361
大学院生	152

※ウェイトバック集計を行っているため、n数の内訳を足し合わせても合計と一致しない場合がある。

①卒業後の進路確定状況

**民間企業・団体への就職活動を経験した大学生・大学院生の9割以上が3月時点で進路を確定。
2022年卒に比べて民間企業への就職確定者がやや増加している。**

民間企業・団体への就職活動経験者は、調査を実施した3月時点では、大学生・大学院生ともに9割以上が卒業後の進路を確定している。

2022年調査と比べると、大学生・大学院生ともに民間企業・団体への就職確定者がやや増加している。特に北海道・東北や中国・四国の大学生では民間企業・団体への就職確定者が大幅に増加している。(図表1)

図表1 卒業後の進路確定状況(単一回答、単位=%)

	n=	民間企業・団体に就職する	民間企業・団体以外(公務員、教員などに就職する)	就職確定者・計	起業する	大学院などへ進学する	留学する	パート、アルバイトなどの臨時的収入を目的とした仕事に就く	留年するので、卒業しない	その他	進路確定者・計	まだ進路が確定していない
大学生	1,536	83.1 (2.8)	6.4 (-0.8)	<u>89.5</u> (2.0)	0.7 (0.2)	2.9 (-1.5)	0.4 (0.3)	1.8 (-1.2)	0.6 (-0.1)	0.4 (-0.5)	<u>96.3</u> (-0.7)	3.7 (0.7)
文系	1,025	84.4 (3.1)	6.2 (-1.8)	<u>90.6</u> (1.3)	0.3 (-0.1)	1.2 (-0.6)	0.6 (0.4)	2.6 (-0.7)	0.8 (0.0)	0.5 (-0.4)	<u>96.6</u> (-0.2)	3.4 (0.2)
国公立	127	74.6 (-3.6)	14.4 (-0.2)	<u>88.9</u> (-3.8)	0.3 (-0.7)	2.9 (0.7)	1.5 (1.5)	3.2 (2.5)	0.6 (0.3)	- (-1.0)	<u>97.4</u> (-0.5)	2.6 (0.5)
私立	898	85.8 (4.1)	5.0 (-2.1)	<u>90.8</u> (2.0)	0.3 (-0.0)	0.9 (-0.8)	0.4 (0.3)	2.5 (-1.2)	0.9 (-0.0)	0.6 (-0.4)	<u>96.5</u> (-0.2)	3.5 (0.2)
理系	511	80.6 (2.1)	6.8 (1.3)	<u>87.4</u> (3.5)	1.4 (0.8)	6.4 (-3.2)	0.1 (0.1)	0.2 (-2.0)	0.2 (-0.4)	- (-0.6)	<u>95.7</u> (-1.8)	4.3 (1.8)
国公立	150	67.8 (-3.7)	8.6 (2.2)	<u>76.4</u> (-1.5)	2.4 (0.7)	18.3 (4.7)	- (-)	- (-4.4)	- (-2.0)	- (-)	<u>97.1</u> (-2.6)	2.9 (2.6)
私立	361	85.9 (4.1)	6.0 (1.1)	<u>91.9</u> (5.2)	1.0 (1.0)	1.4 (-6.2)	0.2 (0.2)	0.4 (-0.9)	0.4 (0.4)	- (-0.9)	<u>95.2</u> (-1.4)	4.8 (1.4)
北海道・東北	135	78.8 (14.6)	6.4 (-7.8)	<u>85.1</u> (6.8)	0.9 (0.9)	6.2 (-4.1)	0.6 (0.6)	0.3 (-5.5)	- (-1.1)	- (-)	<u>93.0</u> (-2.6)	7.0 (2.6)
関東	600	81.0 (-1.0)	6.5 (0.0)	<u>87.5</u> (-1.0)	0.9 (0.4)	2.3 (-2.3)	0.3 (0.1)	2.4 (0.3)	1.4 (1.1)	0.8 (-0.3)	<u>95.6</u> (-1.7)	4.4 (1.7)
中部	261	87.5 (0.2)	7.9 (2.6)	<u>95.4</u> (2.9)	- (-)	2.0 (-1.3)	0.1 (0.1)	0.9 (-1.3)	- (-1.0)	- (-)	<u>98.5</u> (-0.6)	1.5 (0.6)
近畿	352	85.7 (6.2)	5.6 (0.4)	<u>91.3</u> (6.6)	0.1 (-0.9)	1.6 (-1.7)	0.6 (0.6)	2.6 (-0.8)	0.3 (-1.5)	- (-1.1)	<u>96.5</u> (1.0)	3.5 (-1.0)
中国・四国	98	93.3 (19.0)	4.6 (-12.1)	<u>97.9</u> (6.9)	- (-)	1.0 (-4.5)	0.4 (0.4)	0.4 (-0.5)	0.4 (0.4)	- (-)	<u>100.0</u> (2.6)	- (-2.6)
九州	90	70.1 (-5.9)	6.4 (-1.2)	<u>76.5</u> (-7.2)	4.0 (3.4)	11.8 (9.5)	0.9 (0.9)	1.3 (-5.4)	- (-)	0.9 (-1.8)	<u>95.3</u> (-0.7)	4.7 (0.7)
大学院生	152	82.9 (2.2)	7.2 (0.8)	<u>90.1</u> (3.0)	0.7 (0.7)	4.6 (1.0)	- (-)	- (-0.7)	1.3 (-0.1)	- (-0.7)	<u>96.7</u> (3.1)	3.3 (-3.1)

* カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。

* 2022年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

②就職予定先への納得度

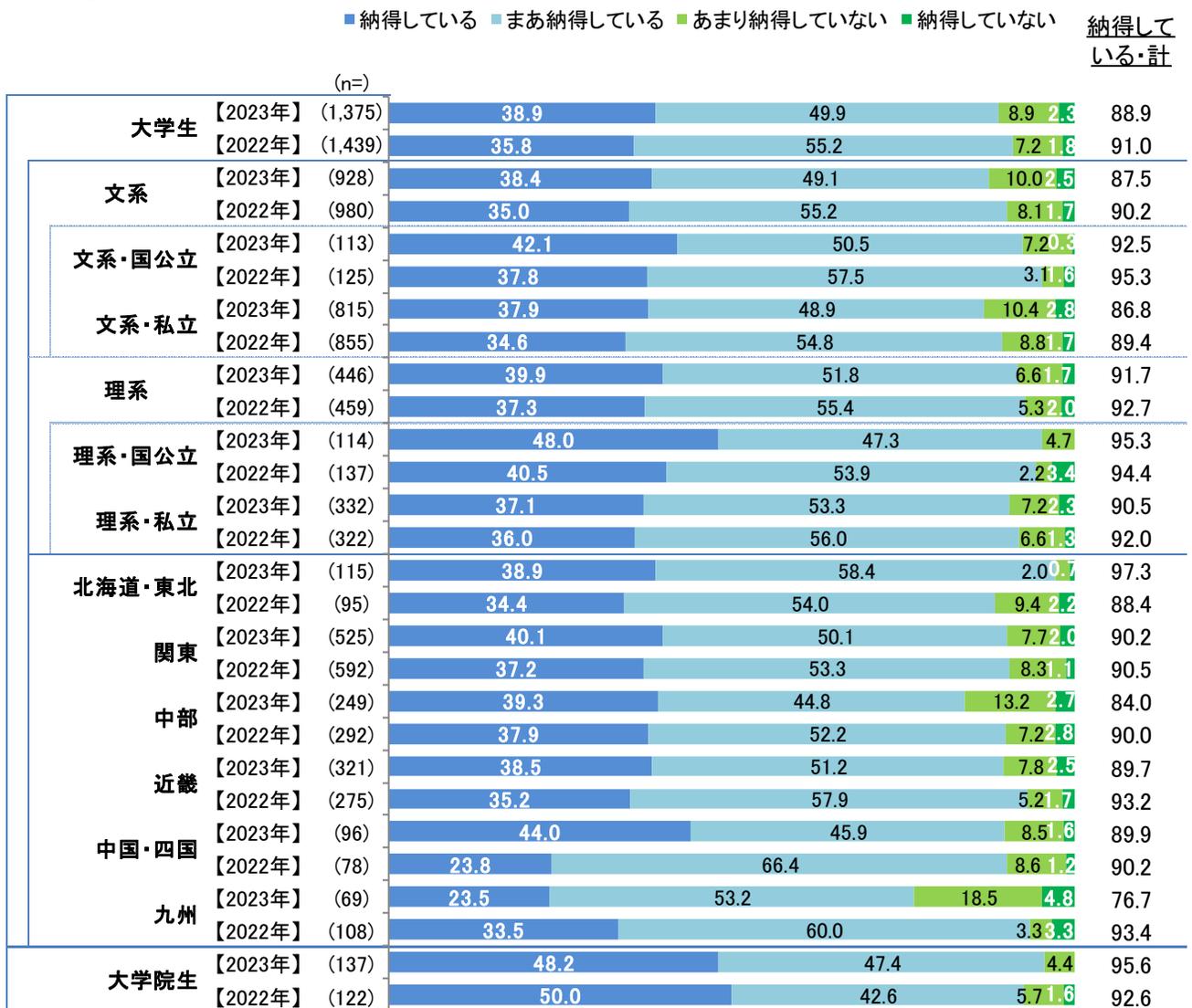
就職確定者の就職予定先への納得度は、大学生・大学院生ともに9割前後で、引き続き高水準。文系大学生で納得度が低下している一方で、大学院生ではやや上昇している。

就職確定者の就職予定先に対して納得している・計は、大学生・大学院生ともに9割前後となっている。属性別にみると、文系・理系問わず国公立大学生の割合が高い。

2022年調査と比べると、大学生では納得している・計が減少しており、文系大学生の減少幅がやや大きい。一方で、大学院生では納得している・計がやや増加している。地域別にみると、特に九州の大学生は納得している・計が大幅に減少している。(図表2)

図表2 就職確定者の就職予定先への納得度(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース



※納得している・計:「納得している」+「まあ納得している」

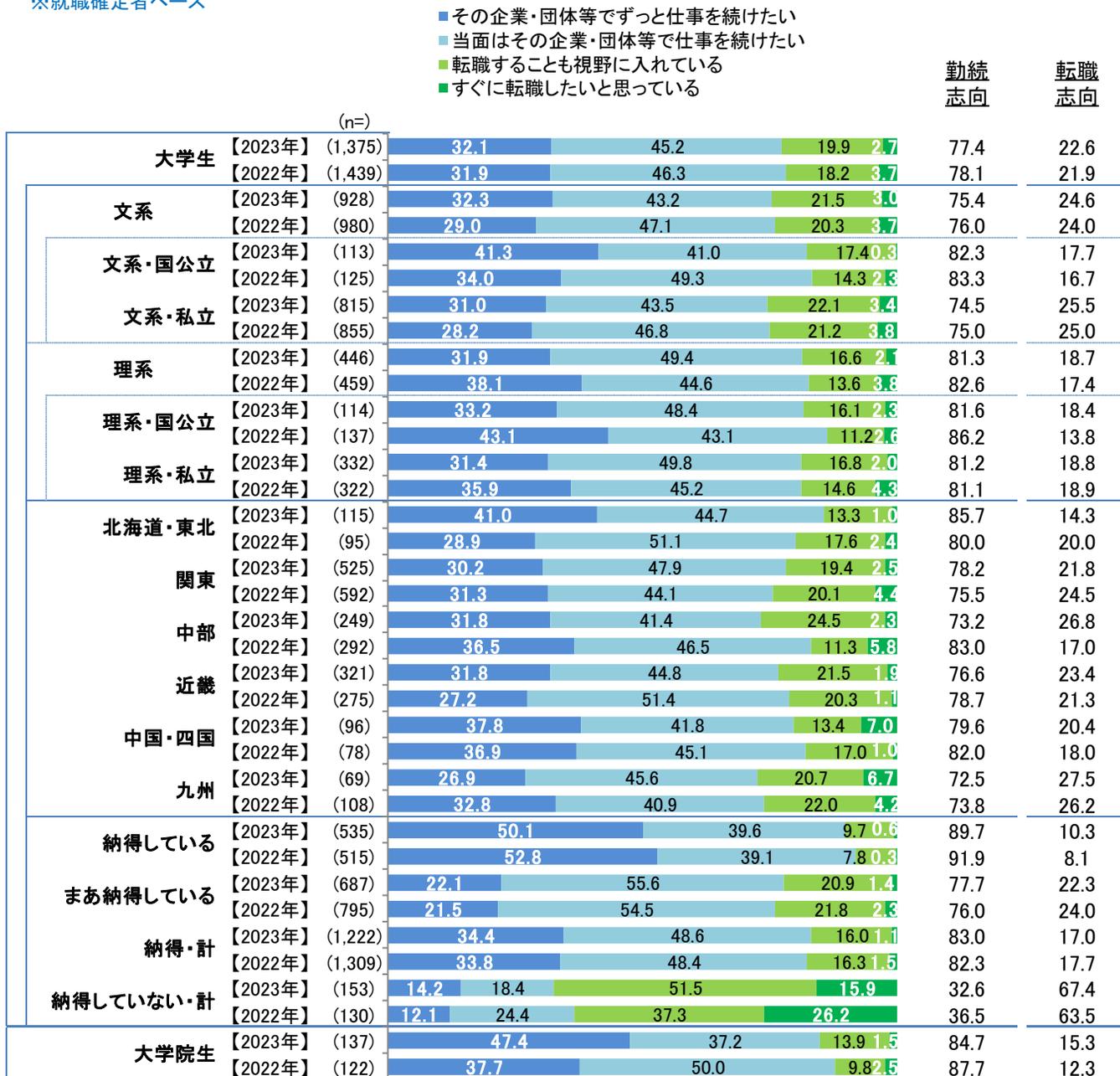
③就職予定先への就業意向

就職予定先に「勤続志向」であった学生は、大学生では7割後半、大学院生では8割半ば。理系の国公立大学生の「勤続志向」が、2022年卒に比べて減少している。

就職確定者の就職予定先への「勤続志向」は、大学生では7割後半、大学院生では8割半ばとなっている。2022年調査と比べると、理系の国公立大学生は「勤続志向」が減少している。「転職志向」は、大学生では2割前半、大学院生では1割半ばとなっており、2022年調査と同水準。大学生の「すぐに転職したいと思っている」は、わずか3%程度である。(図表3)

図表3 就職確定者の就職予定先への勤続志向・転職志向(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース



※勤続志向:「その企業・団体等ですっと仕事を続けたい」+「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい」

※転職志向:「転職することも視野に入れている」+「すぐに転職したいと思っている」

④就職予定先への評価

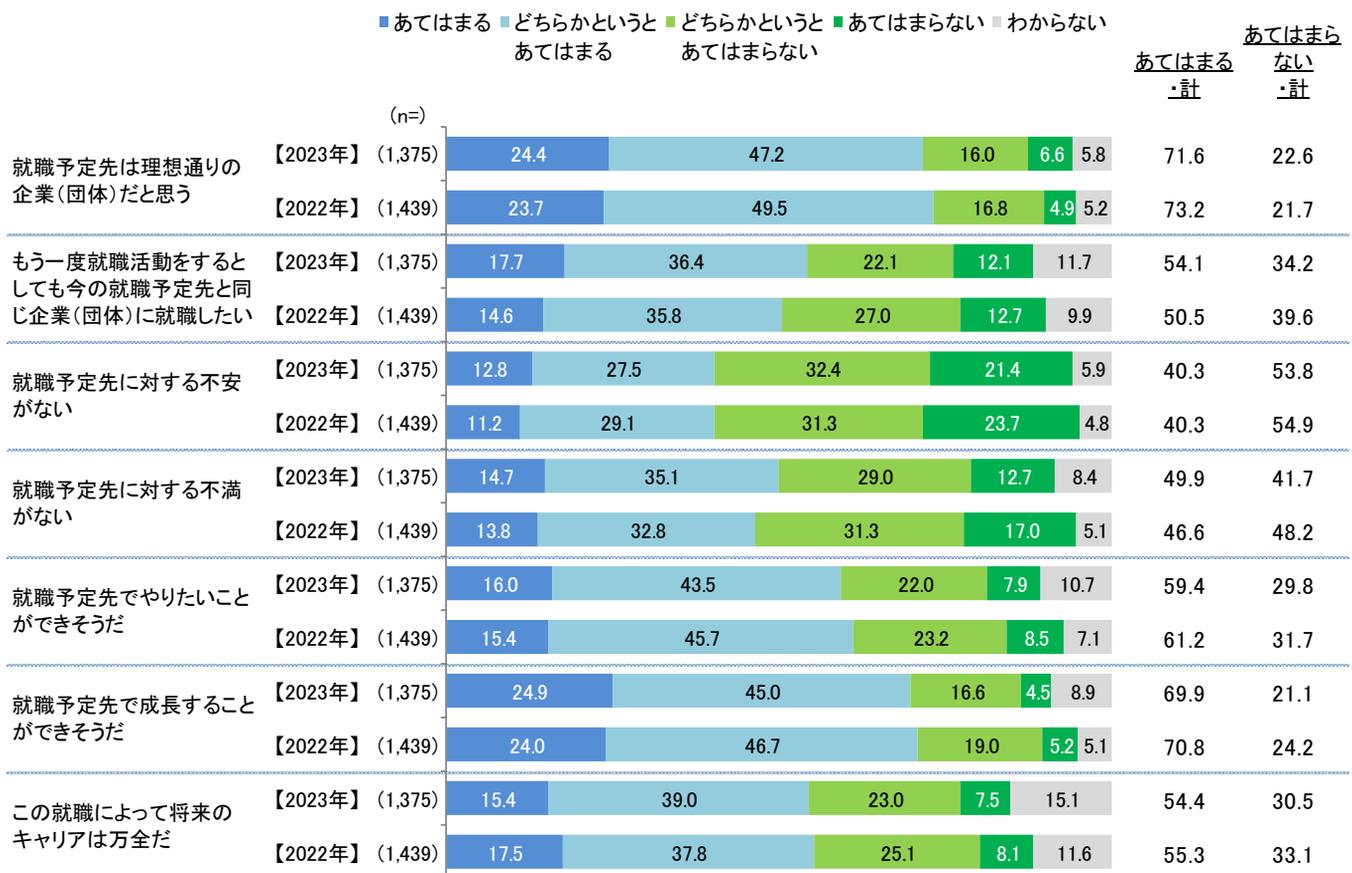
就職予定先への評価は、大学生で「理想通りの企業だと思う」「成長することができそうだ」のあてはまる・計が約7割。「もう一度就職活動しても同じ企業に就職したい」が2022年卒から増加。

就職確定者における就職予定先への評価のあてはまる・計は、大学生は「就職予定先は理想通りの企業だと思う」「就職予定先で成長することができそうだ」が約7割、「就職予定先に対する不安がない」が約4割となっている。また、大学生よりも大学院生で「就職予定先は理想通りの企業だと思う」「就職予定先に対する不満がない」などの割合が高い。

2022年調査と比べると、大学生はほとんどの項目であてはまる・計は同水準であるが、「もう一度就職活動をするとしても今の就職予定先と同じ企業(団体)に就職したい」「就職予定先に対する不満がない」などがやや増加している。大学院生は「この就職によって将来のキャリアは万全だ」「就職予定先でやりたいことができそうだ」が増加している。(図表4-1～2)

図表4-1 【大学生】就職確定者の就職予定先への評価(各単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース



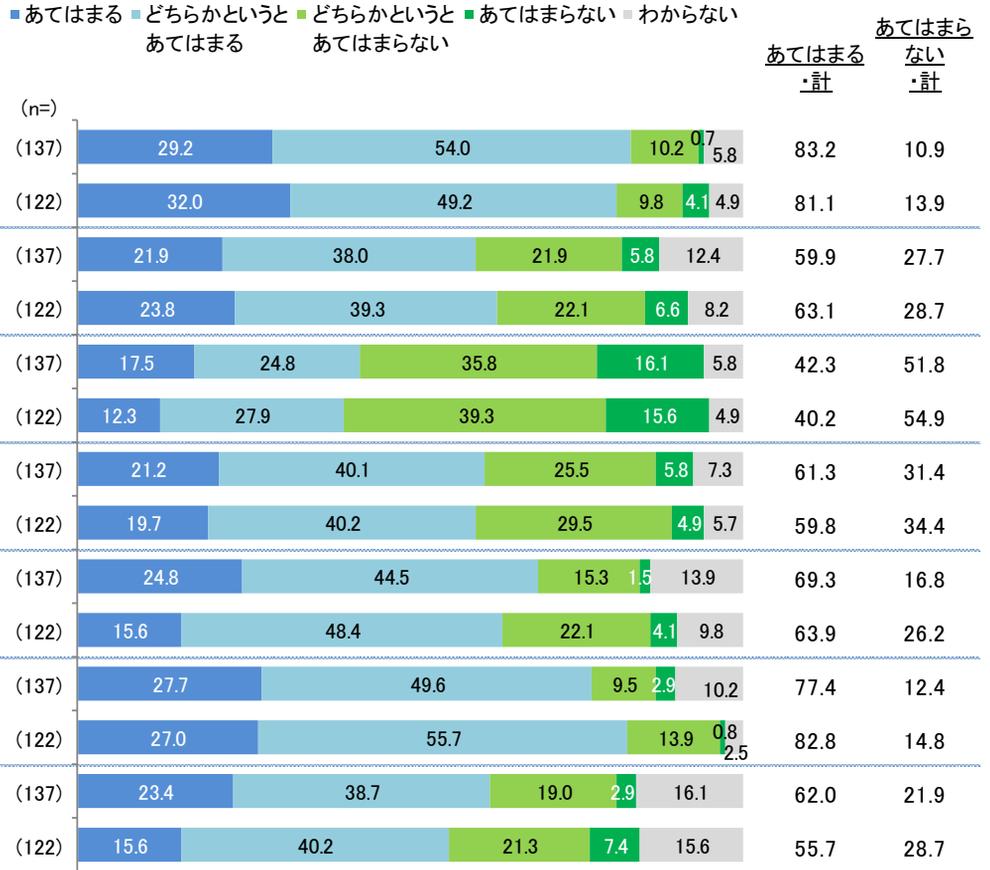
※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」

※あてはまらない・計:「どちらかというにあてはまらない」+「あてはまらない」

④就職予定先への評価

図表4-2 【大学院生】就職確定者の就職予定先への評価(各単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース



※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというあてはまる」

※あてはまらない・計:「どちらかというあてはまらない」+「あてはまらない」

⑤就職予定先の企業状況

大学生は「情報通信業」「製造業」「医療、福祉」、大学院生は「製造業」「情報通信業」が上位。

就職確定者における就職予定先の業種は、大学生は「情報通信業」「製造業」「医療、福祉」の順に割合が高い。大学院生は「製造業」「情報通信業」の順に割合が高い。

属性別にみると、文系の国公立大学生は大学生全体に比べて「製造業」の割合が高い。理系の国公立大学生は大学生全体に比べて「情報通信業」「医療、福祉」などの割合が高い。

2022年調査と比べると、大学生では「製造業」「情報通信業」などが増加している。大学院生では「製造業」「医療、福祉」「情報通信業」などが減少している。(図表5)

図表5 就職確定者の就職予定先の業種(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース

	n=	農業、林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業
大学生	1,375	0.8 (-0.1)	0.1 (-0.2)	0.5 (0.0)	4.5 (-2.7)	13.2 (3.2)	1.9 (-1.5)	15.4 (2.1)	3.0 (-1.1)	10.0 (-0.8)	6.7 (1.3)	3.6 (0.6)
文系	928	0.8 (0.5)	0.1 (-0.2)	0.7 (0.4)	3.9 (-0.5)	9.0 (2.3)	2.3 (-0.8)	14.7 (3.1)	4.1 (-1.0)	10.9 (-2.2)	8.4 (0.7)	4.1 (0.4)
国公立	113	2.0 (2.0)	- (-)	- (-1.6)	2.3 (-0.8)	15.0 (2.3)	4.6 (1.4)	14.6 (6.5)	5.0 (-0.5)	8.2 (-0.5)	10.3 (-2.2)	3.7 (0.9)
私立	815	0.6 (0.3)	0.1 (-0.3)	0.8 (0.7)	4.2 (-0.4)	8.2 (2.3)	2.0 (-1.1)	14.7 (2.6)	4.0 (-1.1)	11.3 (-2.5)	8.1 (1.2)	4.2 (0.3)
理系	446	0.8 (-1.4)	- (-)	0.1 (-0.8)	5.6 (-7.4)	21.7 (5.0)	1.1 (-2.9)	17.0 (-0.2)	0.7 (-1.1)	7.9 (2.2)	3.2 (2.6)	2.4 (1.0)
国公立	114	1.0 (-2.1)	- (-)	0.6 (0.6)	1.5 (-3.7)	19.1 (1.5)	- (-5.4)	24.9 (-3.8)	2.3 (1.9)	7.5 (0.6)	2.3 (1.1)	0.5 (0.5)
私立	332	0.7 (-1.1)	- (-)	- (-1.3)	7.0 (-9.3)	22.7 (6.2)	1.5 (-1.9)	14.2 (1.9)	0.2 (-2.3)	8.0 (2.8)	3.4 (3.2)	3.1 (1.1)
北海道・東北	115	3.2 (-0.5)	- (-)	2.9 (2.0)	3.3 (-2.7)	9.7 (1.1)	3.5 (0.3)	8.3 (0.9)	- (-2.7)	16.6 (4.0)	8.1 (5.7)	3.3 (3.3)
関東	525	0.8 (0.0)	0.1 (0.1)	0.4 (0.3)	5.2 (-2.9)	11.5 (2.3)	2.0 (-2.0)	18.7 (1.6)	3.0 (-1.0)	10.0 (2.2)	5.8 (0.7)	2.6 (-0.8)
中部	249	0.1 (0.1)	- (-)	0.6 (-1.1)	4.8 (-3.1)	17.7 (2.6)	1.8 (-0.8)	13.3 (2.4)	3.1 (-2.8)	9.9 (-3.3)	5.5 (-1.9)	4.4 (3.4)
近畿	321	0.4 (0.4)	- (-1.2)	- (-)	4.7 (-2.0)	13.3 (3.4)	1.6 (-0.7)	17.1 (4.3)	3.8 (-1.4)	10.0 (-3.7)	8.1 (2.8)	2.8 (-2.3)
中国・四国	96	0.9 (-2.9)	- (-)	- (-)	1.3 (-3.8)	20.7 (10.6)	1.2 (0.8)	11.0 (1.7)	2.8 (1.8)	6.4 (-4.0)	0.8 (-2.0)	9.1 (3.1)
九州	69	- (-0.8)	- (-)	- (-0.7)	2.7 (-0.3)	3.9 (2.7)	1.7 (-5.9)	8.1 (-1.0)	5.3 (4.6)	3.8 (-8.5)	17.0 (11.1)	4.8 (3.5)
大学院生	137	- (-2.5)	- (-)	- (-)	8.0 (4.8)	35.0 (-5.9)	5.8 (0.1)	10.2 (-3.7)	0.7 (-0.9)	5.8 (2.6)	2.2 (1.4)	- (-)

* カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2022年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑤就職予定先の企業状況

※就職確定者ベース

※前ページより続き

	n=	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業（他に分類されないもの）	公務（他に分類されるものを除く）	NPO等団体	その他
大学生	1,375	2.2 (-0.5)	2.4 (-0.4)	3.2 (0.5)	4.8 (-1.1)	11.2 (-1.7)	1.1 (-0.1)	7.5 (1.0)	4.2 (0.5)	0.2 (0.2)	3.7 (0.6)
文系	928	2.1 (-0.3)	2.8 (-0.1)	3.7 (0.1)	6.0 (-2.2)	7.0 (-1.8)	0.9 (-0.5)	9.4 (1.2)	4.4 (-0.1)	0.4 (0.4)	4.3 (0.7)
国公立	113	1.3 (-1.2)	2.0 (-0.6)	0.9 (-2.8)	7.0 (-0.5)	7.2 (1.9)	1.3 (-0.6)	3.2 (-2.0)	10.4 (-0.9)	0.3 (0.3)	0.7 (-1.2)
私立	815	2.2 (-0.2)	2.9 (-0.1)	4.1 (0.5)	5.8 (-2.5)	7.0 (-2.3)	0.9 (-0.5)	10.2 (1.6)	3.5 (0.1)	0.4 (0.4)	4.8 (0.9)
理系	446	2.4 (-0.8)	1.5 (-0.9)	2.1 (1.4)	2.2 (1.3)	19.9 (-1.8)	1.3 (0.7)	3.6 (0.7)	3.9 (1.8)	- (-)	2.5 (0.5)
国公立	114	3.3 (0.7)	1.5 (1.0)	1.0 (1.0)	- (-0.4)	21.8 (7.3)	- (-2.2)	2.8 (-1.6)	6.7 (2.8)	- (-)	3.3 (0.3)
私立	332	2.1 (-1.3)	1.6 (-1.7)	2.4 (1.6)	3.0 (1.9)	19.2 (-5.4)	1.8 (1.8)	3.9 (1.5)	3.0 (1.6)	- (-)	2.2 (0.7)
北海道・東北	115	1.0 (0.7)	1.9 (1.6)	0.7 (-4.2)	5.2 (-12.1)	17.4 (3.7)	- (-2.9)	4.2 (-1.4)	8.5 (5.2)	1.0 (1.0)	1.4 (-2.9)
関東	525	2.9 (-1.4)	2.3 (-0.4)	3.7 (1.0)	4.7 (-0.9)	8.2 (-2.4)	1.7 (0.5)	6.9 (-0.2)	4.8 (0.9)	0.1 (0.1)	4.5 (2.2)
中部	249	3.2 (2.4)	0.9 (-1.1)	2.1 (1.1)	4.2 (1.0)	10.9 (-1.5)	0.3 (-0.5)	8.5 (4.0)	4.0 (0.7)	0.3 (0.3)	4.4 (-1.9)
近畿	321	1.2 (0.3)	2.4 (-0.7)	4.2 (0.2)	5.0 (0.1)	10.9 (-4.1)	0.9 (-0.3)	8.5 (2.4)	2.2 (0.8)	- (-)	2.6 (1.6)
中国・四国	96	1.2 (-0.5)	6.7 (5.2)	4.6 (3.6)	4.8 (-6.4)	15.4 (-6.7)	1.2 (1.2)	6.7 (3.6)	1.5 (-9.1)	0.8 (0.8)	2.9 (2.9)
九州	69	0.9 (-4.4)	2.8 (-4.0)	- (-2.9)	5.6 (2.1)	20.9 (6.3)	1.1 (-0.4)	9.8 (-2.7)	6.7 (1.7)	- (-)	4.8 (-0.4)
大学院生	137	8.0 (0.7)	- (-)	0.7 (0.7)	3.6 (0.4)	6.6 (-4.1)	1.5 (0.6)	2.9 (-0.4)	5.8 (5.0)	0.7 (0.7)	2.2 (0.6)

* カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2022年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑤就職予定先の企業状況

就職予定先の従業員規模は、大学生は「300人～999人」、大学院生は「300人～999人」「5,000人以上」の割合が増加。理系の国公立大学生の「1,000人～4,999人」の割合が増加。

就職確定者における就職予定先の従業員規模は、大学生は「300人～999人」の割合が最も高い。大学院生は「5,000人以上」の割合が最も高い。

2022年調査と比べると、大学生は「300人～999人」が増加している。特に北海道・東北や九州の大学生で増加している。理系の国公立大学生では「1,000人～4,999人」の割合が大幅に増加し、最も高い。(図表6)

図表6 就職確定者の就職予定先の従業員規模(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース

n=		100人未満	100人～299人	300人～999人	1,000人～4,999人	5,000人以上
大学生	1,375	16.0 (-0.8)	20.0 (0.8)	27.1 (4.2)	21.8 (-3.5)	15.1 (-0.6)
文系	928	18.4 (0.8)	20.5 (1.0)	25.6 (2.9)	19.8 (-4.8)	15.7 (0.2)
国公立	113	14.6 (3.0)	15.9 (-0.0)	24.3 (4.8)	24.0 (-11.2)	21.2 (3.5)
私立	815	18.9 (0.4)	21.1 (1.1)	25.8 (2.6)	19.2 (-3.8)	14.9 (-0.2)
理系	446	11.2 (-3.9)	19.0 (0.4)	30.0 (6.8)	26.0 (-0.9)	13.8 (-2.4)
国公立	114	7.5 (-5.2)	11.1 (-11.6)	28.1 (2.0)	34.3 (16.3)	19.0 (-1.5)
私立	332	12.5 (-3.7)	21.7 (4.9)	30.7 (8.7)	23.1 (-7.6)	12.0 (-2.3)
北海道・東北	115	14.1 (-0.9)	28.4 (2.4)	28.4 (9.0)	18.3 (-4.5)	10.8 (-6.0)
関東	525	14.3 (-1.4)	22.0 (2.6)	26.2 (2.7)	20.6 (-5.9)	17.0 (2.0)
中部	249	19.2 (3.7)	18.5 (-2.9)	32.3 (7.0)	16.9 (-4.5)	13.2 (-3.3)
近畿	321	15.6 (-2.0)	12.9 (-0.6)	26.9 (3.0)	28.2 (-0.3)	16.5 (0.0)
中国・四国	96	22.1 (-7.0)	20.2 (3.7)	18.3 (-0.3)	24.9 (7.3)	14.6 (-3.7)
九州	69	15.3 (-2.0)	29.4 (5.7)	26.0 (9.1)	20.4 (-8.5)	8.9 (-4.3)
大学院生	137	9.5 (-1.2)	7.3 (-0.9)	24.8 (6.0)	21.9 (-9.2)	36.5 (5.3)

* カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2022年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑤就職予定先の企業状況

採用・コースは大学生・大学院生ともに「総合職」の割合が最も高いものの2022年卒より減少。理系の国公立大学生で「職務限定職」が大幅に増加している。

就職確定者において、就職予定先で応募した採用・コースは、大学生・大学院生ともに「総合職」の割合が最も高い。

2022年調査と比べると、いずれの属性も「総合職」の割合は減少。理系の国公立大学生で「職務限定職」が大幅に増加している。(図表7)

図表7 就職確定者の就職予定先で応募した採用・コース(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース		総合職	一般職	地域限定職	職務限定職	その他の採用 または職種・ コース	採用または 職種・コース等 の定めがない
n=							
大学生	1,375	46.4 (-5.0)	24.7 (2.0)	3.7 (0.2)	9.3 (1.9)	5.6 (0.8)	10.3 (0.1)
文系	928	50.6 (-3.3)	23.0 (1.1)	5.0 (0.2)	6.4 (1.5)	5.5 (2.2)	9.5 (-1.7)
国公立	113	57.3 (-6.9)	21.5 (5.6)	4.6 (1.1)	8.6 (4.0)	3.7 (0.8)	4.3 (-4.7)
私立	815	49.7 (-2.7)	23.3 (0.5)	5.0 (0.0)	6.1 (1.1)	5.8 (2.4)	10.2 (-1.3)
理系	446	37.6 (-8.3)	28.0 (3.7)	1.2 (0.4)	15.3 (2.6)	5.9 (-2.2)	11.9 (3.8)
国公立	114	46.8 (-5.3)	24.9 (2.5)	1.0 (0.1)	18.0 (10.4)	4.8 (-2.1)	4.4 (-5.6)
私立	332	34.5 (-8.8)	29.1 (3.9)	1.3 (0.6)	14.3 (-0.5)	6.3 (-2.3)	14.5 (7.2)
北海道 ・東北	115	39.6 (-2.8)	24.7 (-3.3)	8.2 (4.5)	16.2 (8.2)	2.3 (-4.8)	9.0 (-1.7)
関東	525	50.8 (-5.5)	23.7 (4.3)	2.1 (-1.4)	8.6 (3.2)	5.8 (1.5)	9.1 (-2.0)
中部	249	43.7 (-0.4)	23.6 (-2.3)	4.3 (-0.5)	7.2 (-0.5)	5.0 (-1.3)	16.3 (5.1)
近畿	321	50.0 (-4.1)	21.9 (-0.3)	4.6 (1.2)	8.6 (-3.1)	6.6 (4.4)	8.3 (1.9)
中国・ 四国	96	35.6 (-0.9)	32.7 (-0.3)	1.5 (0.3)	12.8 (7.1)	9.2 (3.7)	8.3 (-9.8)
九州	69	31.7 (-23.0)	37.5 (16.5)	6.4 (4.4)	8.9 (1.4)	3.2 (-4.8)	12.3 (5.6)
大学院生	137	64.2 (-2.2)	11.7 (-0.6)	1.5 (0.6)	12.4 (0.9)	6.6 (0.0)	3.6 (1.2)

* カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2022年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑤就職予定先の企業状況

大学生・大学院生ともに「当初から第1志望(群)だった」の割合が最も高く、2022年卒よりも増加。特に文系・理系問わず国公立大学生で大幅に増加している。

就職確定者における就職予定先の当初の志望状況は、大学生・大学院生ともに「当初から第1志望(群)だった」の割合が最も高い。大学院生は大学生に比べて「当初から第1志望(群)だった」の割合が10ポイント以上高い。

2022年調査と比べると、大学生・大学院生ともに「当初から第1志望(群)だった」が増加している。特に文系・理系問わず国公立大学生で大幅に増加している。(図表8)

図表8 就職確定者の就職活動を開始した当初の就職予定先の志望状況(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース

n=		当初から第1志望(群)だった	第1志望(群)ではないが、当初から志望していた	当初は全く志望していなかった
大学生	1,375	52.2 (6.5)	25.3 (-1.3)	22.5 (-5.3)
文系	928	49.5 (8.7)	24.0 (-3.7)	26.5 (-5.0)
国公立	113	62.5 (10.9)	19.8 (-6.9)	17.7 (-4.0)
私立	815	47.7 (8.5)	24.6 (-3.3)	27.7 (-5.2)
理系	446	57.9 (1.6)	28.1 (4.0)	14.1 (-5.6)
国公立	114	74.7 (13.8)	20.0 (4.1)	5.3 (-17.9)
私立	332	52.1 (-2.1)	30.8 (3.3)	17.1 (-1.1)
北海道・東北	115	55.2 (-3.0)	30.2 (6.7)	14.6 (-3.8)
関東	525	52.5 (9.7)	28.6 (3.6)	18.9 (-13.3)
中部	249	41.0 (-5.1)	28.9 (-6.0)	30.2 (11.1)
近畿	321	57.7 (14.2)	18.0 (-8.8)	24.3 (-5.4)
中国・四国	96	57.4 (-7.7)	23.2 (9.2)	19.4 (-1.5)
九州	69	52.7 (11.5)	17.0 (-7.4)	30.3 (-4.1)
大学院生	137	63.5 (6.1)	16.8 (-8.6)	19.7 (2.5)

* カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2022年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動に関する情報収集の開始時期は、「大学3年/大学院1年の6～9月頃」の割合が最も高く、大学生では2022年卒より増加。終了時期は、大学生は「大学4年の10～3月頃」、大学院生は「大学院2年の6月頃」の割合が最も高い。

就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始時期は、大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年の6～9月頃」の割合が最も高い。2022年調査と比べると、理系の国公立大学生で「大学3年の6～9月頃」の割合が大幅に増加している。

プレエントリーの開始時期は、大学生は「大学3年の1～2月頃」、大学院生は「大学院1年の6～9月頃」の割合が最も高い。2022年調査と比べると、理系の国公立大学生で「大学3年の1～2月頃」の割合が大幅に増加している。(図表9)

図表9 就職活動の開始時期(単一回答、単位=%)

※各実施者ベース

就職活動に関する進め方やノウハウに	n=	大学3年/大学院1年					大学4年/大学院2年				
		5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降	
		大学生	1,466	16.4 (4.0)	31.9 (4.6)	12.3 (-1.7)	6.7 (-2.0)	11.5 (-4.3)	9.6 (-0.3)	7.3 (0.2)	2.2 (-0.2)
プレエントリー	文系	993	17.7 (3.9)	32.1 (4.4)	12.2 (-1.8)	6.4 (-1.6)	11.1 (-2.2)	10.0 (-0.1)	7.5 (-0.7)	1.7 (-0.8)	1.3 (-1.0)
	国公立	122	19.7 (3.5)	36.5 (4.3)	12.2 (-0.3)	4.5 (-2.5)	9.4 (-0.6)	13.1 (-1.3)	2.8 (-2.4)	1.2 (-0.6)	0.6 (0.1)
	私立	872	17.4 (3.9)	31.5 (4.4)	12.3 (-2.0)	6.6 (-1.5)	11.3 (-2.4)	9.6 (0.0)	8.1 (-0.5)	1.8 (-0.8)	1.4 (-1.2)
	理系	472	13.6 (4.1)	31.5 (4.9)	12.4 (-1.4)	7.3 (-2.7)	12.3 (-8.4)	8.7 (-0.7)	7.1 (2.1)	3.2 (1.0)	3.9 (1.1)
	国公立	145	13.6 (-0.3)	40.0 (12.6)	10.2 (-2.3)	10.8 (3.3)	10.9 (-12.1)	5.9 (-3.8)	6.8 (3.6)	1.1 (0.1)	0.8 (-1.0)
	私立	328	13.6 (6.2)	27.7 (1.6)	13.4 (-1.1)	5.8 (-5.3)	12.9 (-6.7)	10.0 (0.7)	7.2 (1.4)	4.1 (1.4)	5.3 (1.9)
	大学院生	148	29.7 (4.0)	30.4 (-2.7)	10.8 (3.5)	4.7 (1.1)	7.4 (0.1)	7.4 (-1.4)	5.4 (-4.2)	2.7 (2.0)	1.4 (-2.3)
大学生	1,439	5.3 (0.2)	16.4 (4.3)	11.9 (2.0)	7.9 (0.3)	21.0 (-2.1)	17.4 (-3.5)	11.6 (-1.0)	4.4 (0.5)	4.2 (-0.6)	
プレエントリー	文系	974	4.3 (-1.1)	16.9 (4.9)	12.2 (3.9)	7.7 (0.7)	20.7 (-3.0)	19.7 (-2.3)	10.7 (-2.2)	3.9 (-0.3)	3.9 (-0.6)
	国公立	120	6.7 (-0.6)	22.0 (8.3)	11.3 (-1.2)	5.5 (-0.9)	20.5 (1.4)	17.7 (-4.1)	7.1 (-1.7)	5.4 (-1.7)	3.8 (0.5)
	私立	853	4.0 (-1.1)	16.2 (4.5)	12.3 (4.6)	8.0 (1.0)	20.8 (-3.7)	19.9 (-2.1)	11.2 (-2.2)	3.6 (-0.1)	3.9 (-0.8)
	理系	466	7.2 (2.7)	15.2 (2.9)	11.3 (-1.9)	8.3 (-0.4)	21.7 (-0.3)	12.7 (-6.0)	13.4 (1.5)	5.4 (2.1)	4.9 (-0.5)
	国公立	140	8.1 (3.9)	14.0 (-0.3)	16.3 (3.4)	7.7 (1.0)	29.6 (10.5)	9.6 (-15.2)	9.9 (3.4)	0.8 (-2.7)	3.9 (-4.0)
	私立	325	6.8 (2.1)	15.7 (4.4)	9.1 (-4.2)	8.5 (-1.2)	18.2 (-5.2)	13.9 (-1.6)	15.0 (0.3)	7.4 (4.2)	5.3 (1.1)
	大学院生	148	6.8 (4.5)	20.9 (1.4)	12.2 (0.1)	12.2 (3.1)	16.9 (-1.2)	16.9 (2.6)	6.1 (-6.7)	2.0 (-0.2)	6.1 (-3.7)

*カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。 *属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2022年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

※各実施者ベース

※前ページより続き

	n=	大学3年／大学院1年					大学4年／大学院2年				
		5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降	
		企業説明会	大学生	1,484	6.4 (1.0)	19.2 (5.3)	13.2 (2.3)	7.3 (-1.0)	17.2 (-1.8)	15.4 (-3.6)	11.6 (-2.5)
	文系	996	6.2 (0.3)	20.9 (7.2)	12.8 (2.3)	7.1 (-0.6)	16.2 (-2.0)	15.8 (-3.7)	12.6 (-2.5)	3.3 (-1.5)	5.1 (0.4)
	国公立	122	9.3 (1.4)	23.6 (4.3)	11.8 (3.4)	5.1 (-3.0)	15.8 (0.3)	17.1 (0.3)	7.6 (-8.9)	4.4 (1.3)	5.3 (0.9)
	私立	874	5.7 (0.1)	20.6 (7.6)	12.9 (2.2)	7.4 (-0.2)	16.3 (-2.3)	15.6 (-4.3)	13.3 (-1.6)	3.2 (-1.8)	5.1 (0.4)
	理系	488	6.8 (2.3)	15.8 (1.3)	14.2 (2.2)	7.6 (-2.0)	19.2 (-1.5)	14.5 (-3.4)	9.4 (-2.6)	5.8 (3.1)	6.7 (0.5)
	国公立	138	7.5 (1.5)	15.9 (1.1)	16.2 (4.5)	10.4 (0.2)	17.4 (-4.2)	16.5 (-2.6)	7.9 (3.4)	3.4 (-0.0)	4.8 (-3.9)
	私立	351	6.5 (2.8)	15.8 (1.4)	13.4 (1.3)	6.6 (-2.8)	19.9 (-0.3)	13.7 (-3.6)	10.0 (-5.6)	6.8 (4.5)	7.5 (2.3)
	大学院生	146	8.9 (5.9)	25.3 (0.3)	11.6 (0.3)	11.6 (3.3)	16.4 (1.3)	11.6 (-1.2)	6.8 (-6.8)	3.4 (-1.1)	4.1 (-2.0)

*カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。 *属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2022年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動の終了時期は、大学生は「大学4年の10～3月頃」、大学院生は「大学院2年の6月頃」の割合が最も高い。

2022年調査と比べると、大学生では大学4年の6月以降がやや減少し、5月以前がやや増加しており、全体的に終了時期が早くなっている様子。(図表10)

図表10 就職活動の終了時期(単一回答、単位=%)

	n=	大学3年/ 大学院1年 の3月以前	大学4年/大学院2年							活動継続中
			4月頃	5月頃	6月頃	7月頃	8月頃	9月頃	10～3月頃	
大学生	1,536	12.2 (1.2)	8.5 (1.4)	10.6 (1.0)	14.3 (-2.6)	12.2 (-1.2)	10.6 (0.9)	7.8 (-0.5)	16.7 (-1.4)	7.2 (1.2)
文系	1,025	9.4 (-0.9)	7.0 (1.4)	11.7 (1.7)	14.1 (-2.1)	13.2 (-0.5)	12.2 (2.5)	8.6 (1.5)	17.9 (-3.6)	6.0 (-0.0)
国公立	127	10.3 (-2.3)	12.3 (8.9)	14.5 (6.5)	14.3 (-10.9)	9.3 (-5.3)	11.2 (4.9)	8.6 (-2.3)	14.7 (0.6)	4.7 (-0.1)
私立	898	9.3 (-0.7)	6.3 (0.3)	11.3 (1.0)	14.1 (-0.8)	13.7 (0.2)	12.3 (2.2)	8.6 (2.0)	18.3 (-4.2)	6.1 (-0.0)
理系	511	17.7 (5.3)	11.4 (1.3)	8.5 (-0.3)	14.6 (-3.8)	10.4 (-2.6)	7.4 (-2.3)	6.3 (-4.3)	14.2 (3.0)	9.6 (3.7)
国公立	150	22.0 (5.0)	19.7 (10.3)	10.3 (2.7)	12.4 (-7.7)	8.7 (-2.8)	8.0 (-2.5)	4.4 (-7.2)	9.1 (0.8)	5.4 (1.4)
私立	361	16.0 (5.8)	7.9 (-2.5)	7.8 (-1.7)	15.5 (-2.0)	11.1 (-2.5)	7.1 (-2.1)	7.1 (-3.1)	16.3 (3.7)	11.3 (4.5)
大学院生	152	18.4 (-0.9)	13.2 (3.9)	11.8 (-2.4)	21.7 (5.3)	5.3 (-6.9)	5.3 (-1.2)	6.6 (3.7)	12.5 (-1.1)	5.3 (-0.5)

* カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2022年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

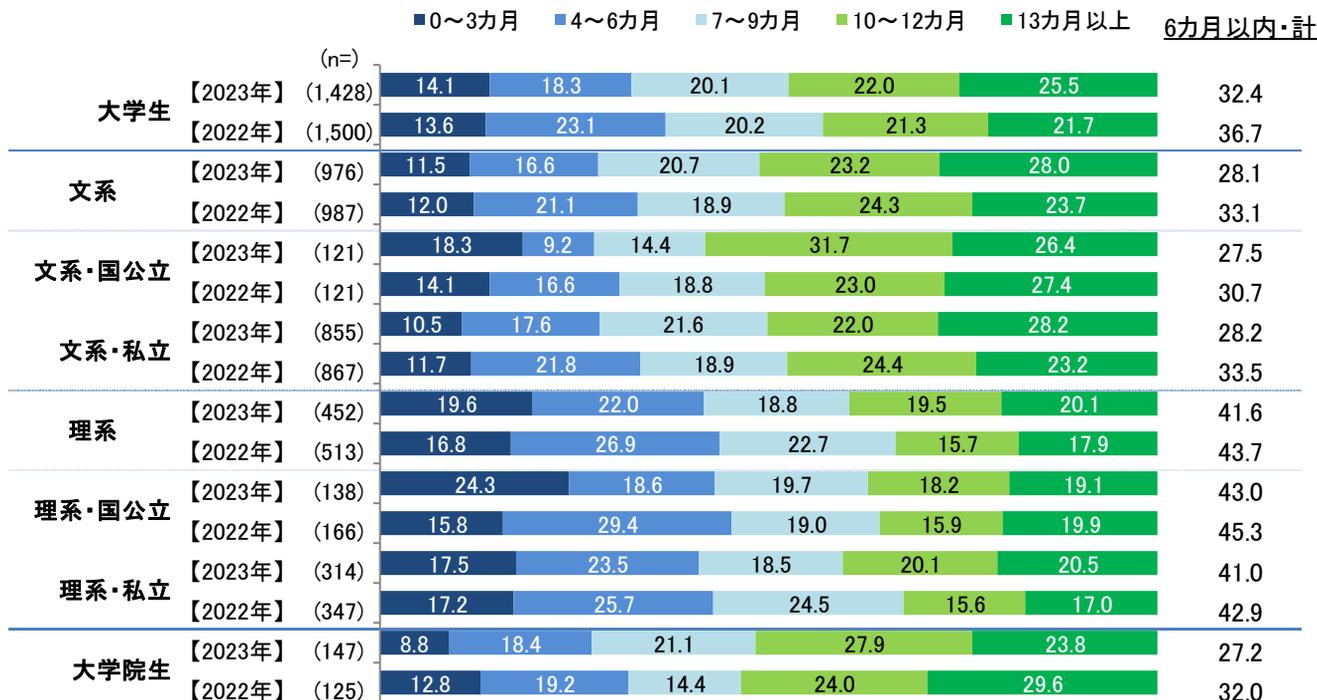
⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間は、大学生・大学院生ともに3割前後が6カ月以内となっている。2022年調査と比べると、大学生・大学院生ともに6カ月以内の割合が減少している。(図表11)

プレントリー、企業説明会の開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間は、大学生・大学院生ともに「4～6カ月」の割合が最も高い。(図表12)

図表11 就職活動の実施期間(単一回答、単位=%)

* 就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始月から就職活動の終了月。
3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。



※6カ月以内・計:「0～3カ月」+「4～6カ月」

図表12 就職活動の実施期間(単一回答、単位=%)

* 各就職活動の開始月から就職活動の終了月。
3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。

		n	0～3カ月	4～6カ月	7～9カ月	10～12カ月	13カ月以上
エン プ レ ー	大学生	1,372	24.3 (-2.7)	31.8 (1.1)	18.5 (-2.2)	13.7 (2.7)	11.7 (1.1)
	大学院生	146	27.4 (-1.1)	28.1 (-8.1)	21.2 (7.4)	11.6 (0.4)	11.6 (1.3)
企 業 説 明 会	大学生	1,411	24.2 (-1.9)	28.5 (-0.3)	17.7 (-2.9)	15.0 (2.7)	14.5 (2.3)
	大学院生	144	24.3 (-2.0)	25.7 (-9.1)	25.0 (8.1)	13.9 (2.9)	11.1 (0.1)
		n	0～2カ月	3～4カ月	5～6カ月	7～9カ月	10カ月以上
面 接 な ど の 選 考	大学生	1,407	24.3 (-1.7)	23.3 (-0.5)	17.1 (2.4)	15.4 (-3.0)	19.9 (2.8)
	大学院生	144	24.3 (-8.5)	24.3 (2.2)	15.3 (-4.4)	20.8 (9.4)	15.3 (1.3)

* カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。
* 2022年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色、10ポイント以上低いセルを濃い青色で網掛けした。

⑦就職活動の各プロセスの活動量

大学生の就職活動の各プロセスにおける活動量は、プレエントリー18.7社、企業説明会参加16.3社、書類選考11.4社、面接などの選考10.6社。2022年卒よりいずれの活動量もやや減少。

各プロセスの対象企業・団体数の平均値は、大学生ではプレエントリー18.7社、企業説明会16.3社、書類選考11.4社、面接などの選考10.6社、最終面接4.1社、内定取得2.2社。属性別にみると、理系大学生よりも文系大学生でプレエントリー、企業説明会、書類選考などの社数が多いが、最終面接や内定の社数はほぼ同じ。

2022年調査と比較すると、大学生ではいずれの活動量もやや減少しているのに対し、大学院生ではやや増加している。

プレエントリーした企業のうち、就職活動開始前から知っていた企業は、大学生・大学院生ともに10社前後となり、大学生・大学院生で違いはみられない。(図表13)

図表13 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の平均値(各数値回答、単位=社) ※0社回答を除く

※各実施者ベース

	プレエントリーした	プレエントリーしたうち、就職活動開始前から知っていた	企業説明会に参加した	書類選考を受けた	面接などの選考を受けた			最終面接を受けた	内定(内々定)を取得した
					対面+Web・計	対面	Web		
大学生	18.7 (-1.7)	9.7 (-1.5)	16.3 (-2.3)	11.4 (-1.3)	10.6 (-1.1)	4.8 (-0.2)	7.1 (-1.1)	4.1 (-0.1)	2.2 (-0.0)
文系	<u>22.3</u> (-0.7)	<u>11.3</u> (-0.9)	<u>18.6</u> (-1.8)	<u>13.5</u> (-0.4)	<u>12.5</u> (0.4)	<u>5.5</u> (0.5)	<u>8.1</u> (-0.3)	<u>4.1</u> (-0.3)	<u>2.3</u> (-0.0)
国公立	20.1 (-1.9)	11.3 (0.4)	18.4 (-0.9)	12.9 (-0.9)	12.2 (0.3)	5.7 (1.0)	7.9 (-0.6)	4.1 (-0.2)	2.4 (-0.2)
私立	<u>22.6</u> (-0.5)	<u>11.4</u> (-1.1)	<u>18.6</u> (-1.9)	<u>13.5</u> (-0.4)	<u>12.5</u> (0.4)	5.5 (0.5)	<u>8.2</u> (-0.3)	<u>4.2</u> (-0.3)	2.3 (0.0)
理系	11.1 (-4.2)	6.3 (-2.7)	11.7 (-3.4)	7.2 (-3.1)	6.9 (-4.0)	3.2 (-1.7)	4.9 (-2.7)	4.0 (0.1)	2.1 (0.0)
国公立	8.2 (-4.8)	5.6 (-1.7)	<u>9.4</u> (-5.3)	5.6 (-3.1)	6.1 (-2.7)	2.9 (-1.2)	4.3 (-2.0)	4.0 (0.3)	2.2 (-0.0)
私立	12.3 (-4.1)	6.6 (-3.1)	12.6 (-2.7)	7.8 (-3.2)	7.2 (-4.6)	3.3 (-1.9)	5.1 (-3.1)	4.0 (0.0)	2.0 (0.0)
北海道・東北	8.0 (-3.2)	6.0 (-1.4)	10.3 (-0.5)	5.7 (-1.2)	7.0 (-0.9)	4.6 (1.5)	3.7 (-2.6)	3.3 (-0.2)	2.0 (-0.1)
関東	<u>22.6</u> (-2.3)	<u>11.8</u> (-0.5)	<u>18.6</u> (-2.5)	<u>13.2</u> (-2.5)	11.8 (-1.8)	<u>5.2</u> (-0.3)	7.8 (-1.6)	4.3 (-0.0)	2.3 (0.1)
中部	16.8 (-1.6)	8.2 (-1.4)	14.9 (-1.8)	11.1 (1.3)	9.7 (0.6)	4.1 (-0.2)	6.8 (1.0)	<u>4.4</u> (0.7)	<u>2.3</u> (0.2)
近畿	20.2 (-1.9)	9.2 (-3.4)	17.1 (-2.0)	12.5 (-1.6)	<u>11.8</u> (-2.3)	5.2 (-1.0)	<u>8.1</u> (-1.7)	4.0 (-0.6)	2.3 (-0.1)
中国・四国	15.0 (1.9)	9.8 (1.8)	14.9 (0.5)	8.6 (0.6)	9.7 (3.3)	4.4 (1.4)	7.3 (1.9)	3.4 (0.1)	2.0 (0.0)
九州	11.0 (-0.0)	6.8 (-3.7)	<u>10.7</u> (-7.5)	6.6 (-2.1)	6.1 (-2.3)	3.3 (-0.1)	3.7 (-2.8)	3.8 (-1.4)	1.8 (-0.8)
大学院生	16.4 (1.2)	10.4 (0.3)	16.7 (2.7)	12.6 (1.9)	11.5 (2.9)	5.0 (1.9)	7.9 (0.7)	4.0 (0.6)	2.5 (0.4)

* カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。

* 各プロセスの文理別/文理×国公立別/地域別で、対象企業・団体数の平均値が最も高いスコアに下線を引いた。

* 2022年とのスコア差が5ポイント以上高いセルを薄い橙色■、5ポイント以上低いセルを薄い青色■で網掛けした。

* 「企業説明会」「面接などの選考」「最終面接」については、対面とWebそれぞれで聴取。

⑦就職活動の各プロセスの活動量

※回答者数(単位=人)

	プレエントリーした	プレエントリーしたうち、就職活動開始前から知っていた	企業説明会に参加した	書類選考を受けた	面接などの選考を受けた			最終面接を受けた	内定(内々定)を取得した
					対面+Web・計	対面	Web		
大学生	1,439	1,239	1,440	1,482	1,423	1,300	1,246	1,410	1,397
文系	973	842	966	988	952	880	859	950	937
国公立	120	108	115	119	118	106	105	116	113
私立	853	734	850	869	835	775	754	834	824
理系	466	397	475	494	471	420	387	460	460
国公立	140	125	134	143	135	125	108	132	131
私立	325	272	341	352	336	294	279	328	329
北海道・東北	122	95	116	131	111	94	91	116	114
関東	572	500	576	580	559	511	508	544	537
中部	240	214	252	251	248	235	212	255	253
近畿	331	280	329	341	335	298	300	330	323
中国・四国	92	76	89	95	87	82	66	91	94
九州	83	73	78	84	83	80	69	74	75
大学院生	148	136	141	150	142	116	133	139	139

⑦就職活動の各プロセスの活動量

大学生の就職活動の各プロセスの対象企業・団体数の分布を属性別にみると、企業説明会への参加社数は、文系大学生は「20～49社」の割合が最も高い。理系大学生は「1～4社」の割合が最も高い。書類選考を受けた社数は、文系大学生、理系大学生ともに「1～4社」の割合が最も高い。

2022年調査と比べると、理系の国公立大学生においてプレエントリー社数や企業説明会参加社数、書類選考を受けた社数が「1～4社」の割合が大幅に増加している。(図表14)

図表14 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の分布(数値回答、単位=%)

		n=	20社未満				20～49社	50～99社	100社以上
			0社	1～4社	5～9社	10～19社			
プレ エントリー した 資料・採用 情報の請求	大学生	1,536	6.3 (-0.5)	29.6 (2.6)	16.1 (-0.5)	15.8 (-0.5)	21.1 (-0.1)	7.8 (-0.3)	3.2 (-0.7)
	文系	1,025	5.1 (-2.1)	24.9 (3.2)	15.4 (0.4)	15.9 (-1.9)	24.2 (-0.2)	10.2 (0.6)	4.4 (-0.0)
	国公立	127	5.6 (-0.2)	22.6 (6.6)	21.0 (1.4)	16.2 (-1.7)	25.2 (1.8)	6.1 (-8.3)	3.3 (0.4)
	私立	898	5.0 (-2.4)	25.2 (2.7)	14.6 (0.3)	15.8 (-1.9)	24.1 (-0.4)	10.7 (1.8)	4.6 (-0.1)
	理系	511	8.9 (2.8)	39.2 (1.5)	17.6 (-2.3)	15.7 (2.2)	14.8 (-0.0)	3.0 (-2.1)	0.9 (-2.2)
	国公立	150	6.3 (3.7)	49.1 (10.8)	18.6 (-7.4)	14.9 (2.1)	8.1 (-6.1)	2.5 (-1.2)	0.4 (-2.0)
	私立	361	9.9 (2.3)	35.1 (-2.2)	17.2 (0.2)	15.9 (2.3)	17.5 (2.4)	3.2 (-2.6)	1.1 (-2.3)
	大学院生	152	2.6 (-2.4)	28.3 (1.1)	19.7 (2.6)	18.4 (-3.7)	19.7 (-3.1)	10.5 (5.5)	0.7 (-0.1)
企業 説明会に 参加した	大学生	1,536	6.2 (-0.4)	22.5 (2.8)	20.4 (1.3)	21.4 (-0.5)	22.7 (-1.4)	5.4 (-1.3)	1.4 (-0.4)
	文系	1,025	5.8 (-1.3)	17.8 (1.7)	20.1 (1.9)	22.3 (-0.6)	25.1 (-0.5)	7.2 (-1.1)	1.8 (-0.2)
	国公立	127	9.3 (1.3)	18.1 (1.7)	14.4 (-0.5)	24.0 (-2.2)	27.6 (1.3)	5.8 (-1.0)	0.9 (-0.5)
	私立	898	5.3 (-1.6)	17.8 (1.7)	20.9 (2.3)	22.0 (-0.3)	24.7 (-0.7)	7.4 (-1.1)	1.9 (-0.1)
	理系	511	7.1 (1.4)	32.0 (5.0)	21.0 (0.1)	19.7 (-0.5)	18.0 (-3.3)	1.7 (-1.8)	0.5 (-0.9)
	国公立	150	10.6 (2.8)	35.1 (10.3)	22.2 (2.9)	21.4 (0.7)	9.6 (-15.5)	1.1 (0.8)	- (-2.0)
	私立	361	5.7 (0.9)	30.7 (2.6)	20.5 (-1.2)	18.9 (-0.9)	21.5 (2.1)	2.0 (-3.0)	0.7 (-0.4)
	大学院生	152	7.2 (1.5)	19.1 (0.5)	24.3 (-3.5)	21.7 (1.0)	21.1 (-3.2)	5.3 (3.1)	1.3 (0.6)

* カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2022年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑦就職活動の各プロセスの活動量

※前ページより続き

		n=	20社未満				20~49社	50~99社	100社以上
			0社	1~4社	5~9社	10~19社			
書類選考を受けた	大学生	1,536	3.5 (-0.7)	38.9 (4.1)	19.1 (0.0)	17.4 (0.3)	17.7 (-3.1)	2.8 (-1.1)	0.6 (0.4)
	文系	1,025	3.7 (-0.1)	31.7 (1.2)	21.3 (3.1)	16.7 (-2.7)	21.8 (-2.1)	4.0 (0.1)	0.9 (0.5)
	国公立	127	6.6 (1.7)	32.0 (10.4)	18.3 (-6.4)	21.6 (-2.2)	18.0 (-2.0)	1.8 (-3.1)	1.8 (1.6)
	私立	898	3.2 (-0.3)	31.7 (-0.1)	21.7 (4.4)	16.0 (-2.7)	22.4 (-2.1)	4.3 (0.5)	0.7 (0.4)
	理系	511	3.3 (-1.9)	53.3 (10.1)	14.7 (-6.0)	18.8 (6.2)	9.4 (-5.0)	0.6 (-3.4)	- (-)
	国公立	150	4.7 (-0.3)	58.4 (16.7)	18.2 (-4.9)	11.7 (-0.8)	6.2 (-10.8)	0.7 (0.1)	- (-)
	私立	361	2.7 (-2.6)	51.2 (7.3)	13.2 (-6.4)	21.7 (9.1)	10.7 (-2.4)	0.5 (-5.0)	- (-)
	大学院生	152	1.3 (-0.8)	29.6 (-5.4)	25.7 (0.7)	21.1 (1.1)	18.4 (2.7)	3.9 (1.8)	- (-)
面接などの選考を受けた (対面+Web)	大学生	1,536	7.4 (-0.0)	36.3 (3.0)	20.0 (0.7)	20.4 (-2.7)	14.0 (-0.3)	1.6 (-0.6)	0.3 (-0.1)
	文系	1,025	7.1 (0.3)	31.3 (2.3)	19.3 (-1.3)	22.1 (-2.7)	17.4 (1.0)	2.3 (0.3)	0.5 (0.2)
	国公立	127	7.4 (4.7)	30.1 (2.6)	17.7 (-3.6)	24.5 (-8.6)	18.0 (5.0)	1.5 (0.0)	0.9 (-0.0)
	私立	898	7.1 (-0.4)	31.5 (2.2)	19.5 (-1.0)	21.7 (-1.8)	17.3 (0.4)	2.4 (0.3)	0.5 (0.2)
	理系	511	7.9 (-0.5)	46.4 (4.5)	21.5 (4.7)	17.0 (-2.8)	7.1 (-2.9)	0.1 (-2.5)	- (-0.6)
	国公立	150	9.8 (0.4)	48.2 (7.0)	21.5 (1.1)	17.8 (-0.9)	2.6 (-7.5)	- (-)	- (-)
	私立	361	7.1 (-0.9)	45.6 (3.4)	21.5 (6.4)	16.6 (-3.6)	9.0 (-0.9)	0.2 (-3.7)	- (-0.8)
	大学院生	152	6.6 (4.4)	33.6 (-4.3)	21.7 (-4.0)	21.1 (-1.8)	15.1 (5.1)	1.3 (-0.1)	0.7 (0.7)
面接などの選考を受けた (対面)	大学生	1,536	15.3	56.1	17.2	8.5	2.1	0.8	-
	文系	1,025	14.1	51.3	19.8	11.0	2.5	1.2	-
	国公立	127	17.0	47.0	18.2	13.1	3.9	0.9	-
	私立	898	13.7	51.9	20.1	10.7	2.3	1.3	-
	理系	511	17.8	65.8	11.8	3.4	1.2	-	-
	国公立	150	16.1	68.2	14.1	0.8	0.7	-	-
	私立	361	18.5	64.7	10.8	4.5	1.4	-	-
	大学院生	152	23.7	48.0	17.8	5.9	3.9	0.7	-
面接などの選考を受けた (Web)	大学生	1,536	18.9	41.7	17.6	13.4	8.0	0.5	-
	文系	1,025	16.2	38.7	18.4	15.9	9.9	0.8	-
	国公立	127	17.3	37.1	20.7	16.9	6.2	1.8	-
	私立	898	16.1	39.0	18.1	15.8	10.4	0.6	-
	理系	511	24.3	47.6	15.9	8.2	4.0	-	-
	国公立	150	28.1	47.9	16.7	5.5	1.9	-	-
	私立	361	22.7	47.4	15.6	9.3	4.9	-	-
	大学院生	152	12.5	40.1	22.4	12.5	11.8	0.7	-

*カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。 *属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

*2022年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

*「企業説明会」「面接などの選考」「最終面接」については、対面とWebそれぞれで聴取。

⑦就職活動の各プロセスの活動量

※前ページより続き

	n=	20社未満				20～49社	50～99社	100社以上	
		0社	1～4社	5～9社	10～19社				
最終面接を受けた	大学生	1,536	8.2 (-0.3)	64.3 (1.6)	18.5 (-0.4)	8.0 (-0.5)	1.0 (-0.4)	- (-)	- (-)
	文系	1,025	7.3 (-0.7)	63.3 (2.4)	20.3 (-0.5)	8.0 (-0.6)	1.1 (-0.7)	- (-)	- (-)
	国公立	127	8.8 (3.5)	61.6 (0.3)	22.2 (-0.1)	6.3 (-3.4)	1.2 (-0.2)	- (-)	- (-)
	私立	898	7.1 (-1.2)	63.5 (2.7)	20.0 (-0.5)	8.3 (-0.2)	1.1 (-0.7)	- (-)	- (-)
	理系	511	10.0 (0.3)	66.3 (-0.1)	14.8 (-0.1)	8.0 (-0.3)	1.0 (0.2)	- (-)	- (-)
	国公立	150	11.6 (2.2)	63.1 (-2.5)	17.7 (-3.5)	6.9 (3.1)	0.7 (0.7)	- (-)	- (-)
	私立	361	9.3 (-0.5)	67.6 (0.8)	13.6 (1.7)	8.5 (-2.0)	1.1 (-0.0)	- (-)	- (-)
大学院生	152	8.6 (4.3)	65.8 (-7.1)	19.1 (2.7)	4.6 (-0.4)	2.0 (0.5)	- (-)	- (-)	

	n=	0社	1社	2社	3社	4社	5社以上	
内定（内々定）を取得した	大学生	1,536	9.0 (-0.8)	40.9 (3.4)	22.1 (-3.1)	13.6 (0.2)	4.9 (-0.4)	9.4 (0.8)
	文系	1,025	8.6 (-0.2)	37.1 (0.4)	25.1 (-0.4)	14.4 (0.9)	5.5 (-0.5)	9.3 (-0.3)
	国公立	127	10.9 (4.1)	29.5 (1.3)	28.6 (0.8)	13.6 (-4.3)	10.0 (4.0)	7.4 (-5.9)
	私立	898	8.2 (-0.8)	38.1 (0.3)	24.6 (-0.5)	14.6 (1.7)	4.8 (-1.1)	9.6 (0.5)
	理系	511	10.0 (-2.1)	48.6 (9.4)	16.2 (-8.6)	11.8 (-1.4)	3.7 (-0.4)	9.7 (3.1)
	国公立	150	12.4 (-6.0)	41.0 (9.4)	19.9 (-2.2)	11.5 (-6.0)	5.1 (1.4)	10.1 (3.3)
	私立	361	9.0 (-0.1)	51.8 (8.9)	14.6 (-11.4)	11.9 (0.8)	3.1 (-1.2)	9.5 (3.0)
大学院生	152	8.6 (1.4)	34.2 (-14.4)	21.1 (3.9)	17.1 (3.5)	7.9 (2.2)	11.2 (3.3)	

* カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2022年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

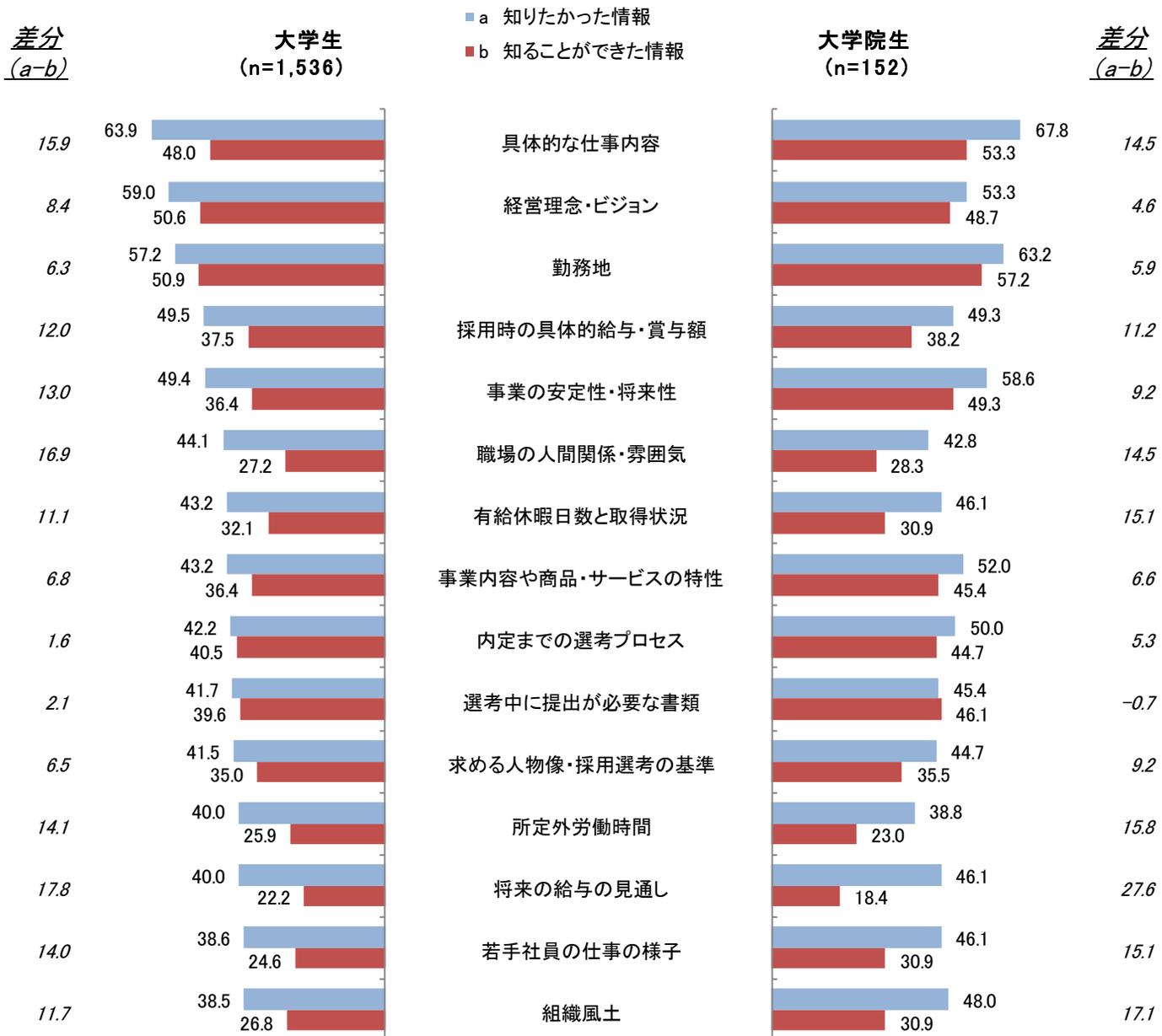
⑧ 知りたかった情報、知ることができた情報

大学生が就職活動中に知りたかった情報は「具体的な仕事内容」「経営理念・ビジョン」「勤務地」の順に高く、知ることができた情報との差が大きいのは「将来の給与の見通し」「職場の人間関係・雰囲気」「具体的な仕事内容」。

大学生が就職活動中に知りたかった情報は、「具体的な仕事内容」「経営理念・ビジョン」「勤務地」の順に高い。知りたかった情報と知ることができた情報の差は、「将来の給与の見通し」「職場の人間関係・雰囲気」「具体的な仕事内容」の順に大きい。

大学院生が就職活動中に知りたかった情報は、「具体的な仕事内容」「勤務地」「事業の安定性・将来性」の順に高い。知りたかった情報と知ることができた情報の差は、「将来の給与の見通し」「組織風土」「所定外労働時間」の順に大きい。(図表15)

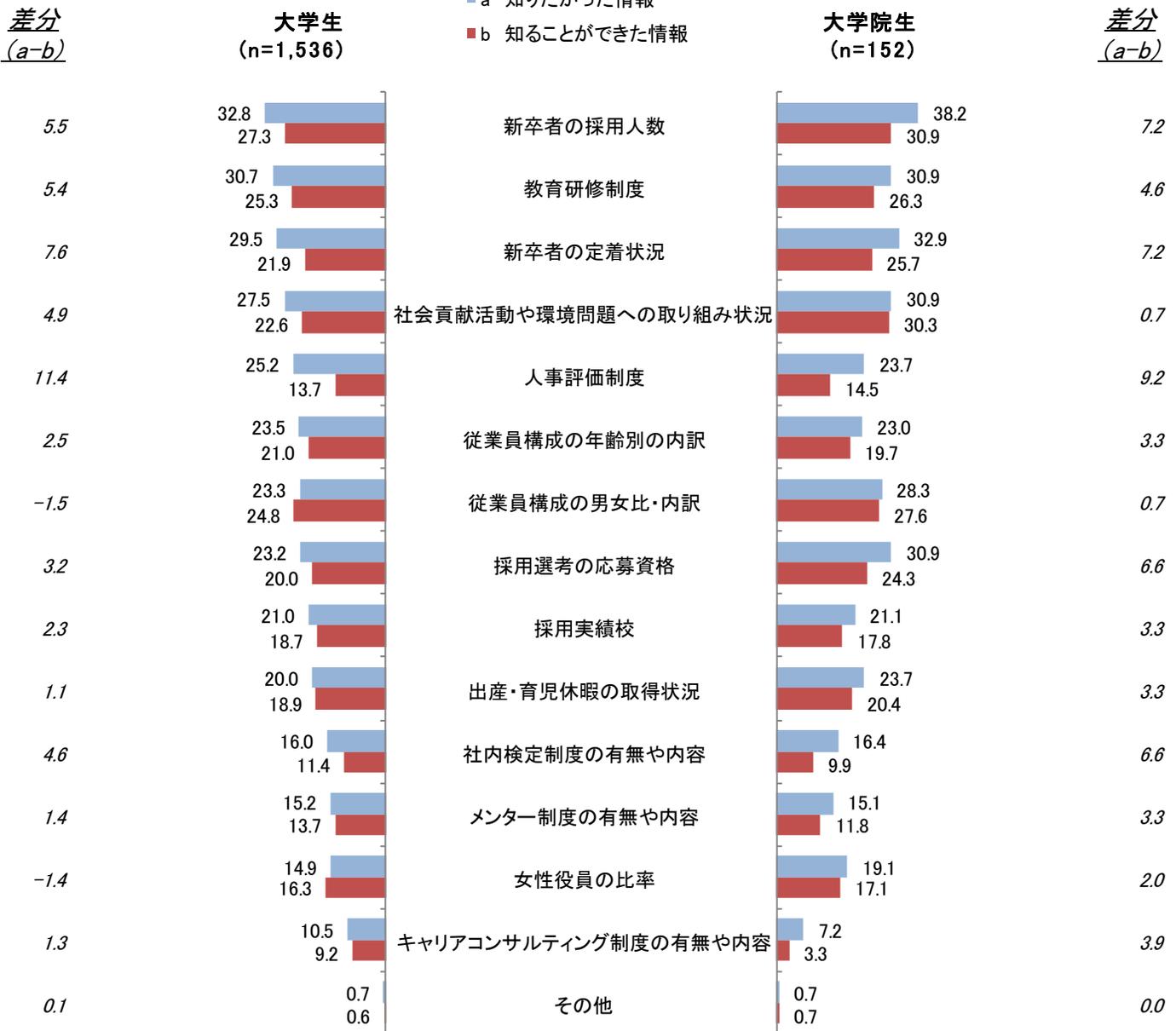
図表15 就職活動中に知りたかった情報、知ることができた情報(複数回答、単位=%)



※大学生「a 知りたかった情報」のスコアで降順に並び替え

⑧ 知りたかった情報、知ることができた情報

※前ページより続き



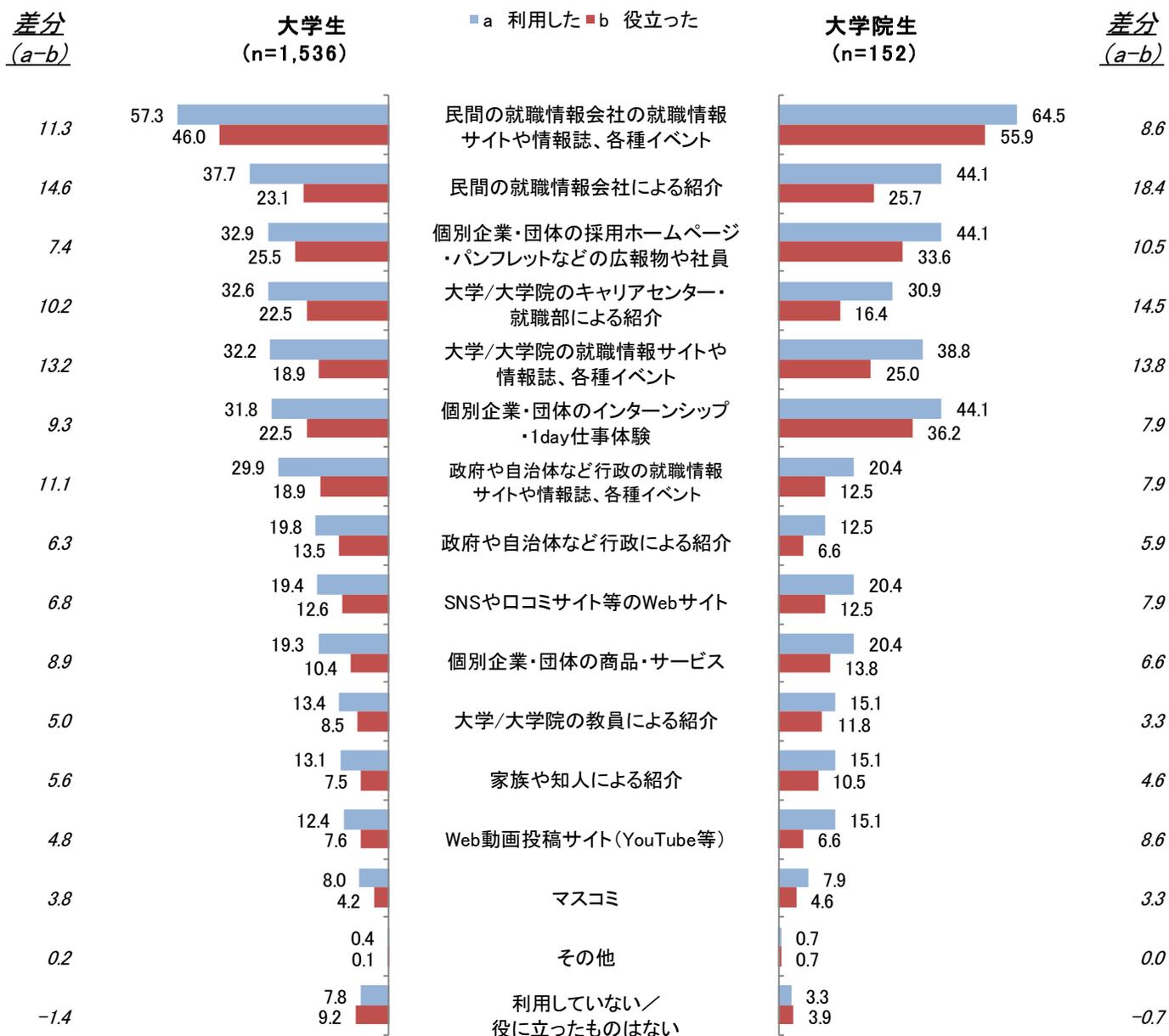
※大学生「a 知りたかった情報」のスコアで降順に並び替え

⑨就職予定先に関する情報源

企業・団体等を選ぶ際の情報源は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」の割合が最も高い。

企業・団体等を選ぶ際の情報源として利用したものは、大学生・大学院生ともに、「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」の割合が最も高い。大学生が利用した割合が2番目に高いのは、「民間の就職情報会社による紹介」であった。大学院生が利用した割合が2番目に高いのは、「民間の就職情報会社による紹介」「個別企業・団体の採用ホームページ・パンフレットなどの広報物や社員」「個別企業・団体のインターンシップ・1day仕事体験」であった。(図表16)

図表16 就職活動を通して、企業・団体等を選ぶ際の情報源(複数回答、単位=%)



※大学生「a 利用した」のスコアで降順に並び替え

⑨就職予定先に関する情報源

最終的な就職予定先の認知経路は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」の割合が最も高い。2022年調査と比べると、大学生で「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」が減少している一方、「大学の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」はやや増加しており、特に理系の国公立大学生で大幅に増加している。(図表17)

図表17 就職確定者の最終的な就職予定先の認知経路(複数回答、単位=%)

※就職確定者ベース

n=		政府や自治体など行政の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	政府や自治体など行政による紹介	民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	民間の就職情報会社による紹介	就職予定先企業・団体の商品・サービス	就職予定先企業・団体のインターンシップ・1day仕事体験	就職予定先企業・団体の採用HP・パンフレットなどの広報物や社員	大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント
大学生	1,375	14.3 (0.1)	5.2 (-0.8)	34.9 (-5.3)	18.3 (-3.9)	8.4 (-2.5)	10.3 (0.3)	14.3 (-1.6)	20.6 (2.7)
文系	928	13.1 (-1.4)	4.9 (-1.7)	36.1 (-5.5)	19.2 (-3.4)	8.5 (-2.5)	9.9 (0.3)	13.2 (-1.6)	17.5 (2.6)
国公立	113	15.1 (-6.0)	10.2 (4.1)	42.1 (1.8)	22.8 (2.4)	13.4 (5.4)	18.3 (2.9)	13.6 (-12.3)	16.0 (4.4)
私立	815	12.8 (-0.7)	4.2 (-2.5)	35.2 (-6.6)	18.7 (-4.2)	7.8 (-3.6)	8.7 (-0.0)	13.2 (-0.1)	17.7 (2.3)
理系	446	16.9 (3.3)	5.9 (1.2)	32.5 (-4.8)	16.3 (-5.1)	8.1 (-2.3)	11.1 (0.2)	16.7 (-1.4)	27.1 (2.6)
国公立	114	20.9 (4.4)	10.9 (7.0)	40.0 (2.4)	18.2 (-4.1)	16.0 (6.0)	13.3 (1.1)	15.2 (0.1)	44.3 (23.5)
私立	332	15.6 (3.2)	4.2 (-0.9)	29.9 (-7.3)	15.6 (-5.3)	5.3 (-5.2)	10.4 (-0.1)	17.2 (-2.2)	21.2 (-4.9)
大学院生	137	8.0 (-5.9)	5.8 (0.1)	41.6 (3.1)	19.7 (-0.8)	10.9 (0.3)	13.1 (0.8)	16.8 (-1.2)	16.8 (2.0)

n=		大学/大学院のキャリアセンター・就職部による紹介	大学/大学院の教員による紹介	家族や知人による紹介	マスコミ	SNSや口コミサイト等のWebサイト	Web動画投稿サイト(YouTube等)	その他	わからない・覚えていない
大学生	1,375	16.0 (0.8)	7.5 (0.7)	8.5 (-1.8)	3.3 (0.0)	7.4 (1.7)	1.8 (-0.8)	1.9 (0.4)	9.3 (2.1)
文系	928	15.3 (1.8)	5.1 (-0.4)	7.3 (-2.2)	3.5 (-0.4)	7.1 (0.2)	1.5 (-1.6)	2.2 (0.5)	9.1 (0.7)
国公立	113	17.9 (6.4)	5.4 (1.2)	9.9 (-2.1)	3.4 (-0.1)	8.3 (3.0)	4.4 (3.0)	1.7 (0.4)	4.6 (-1.2)
私立	815	14.9 (1.1)	5.1 (-0.6)	6.9 (-2.2)	3.5 (-0.4)	7.0 (-0.2)	1.1 (-2.3)	2.3 (0.6)	9.7 (0.9)
理系	446	17.5 (-1.2)	12.4 (2.9)	11.1 (-1.0)	3.0 (0.8)	7.8 (4.9)	2.3 (1.1)	1.3 (0.2)	9.7 (5.0)
国公立	114	20.7 (5.5)	14.6 (4.3)	11.9 (2.8)	5.2 (2.6)	11.3 (10.9)	8.0 (8.0)	1.5 (1.5)	2.4 (-5.4)
私立	332	16.4 (-3.8)	11.7 (2.5)	10.9 (-2.6)	2.3 (0.3)	6.6 (2.7)	0.4 (-1.4)	1.3 (-0.3)	12.2 (8.9)
大学院生	137	15.3 (3.0)	10.2 (-1.3)	17.5 (1.9)	4.4 (-2.2)	6.6 (3.3)	0.7 (-0.1)	4.4 (4.4)	7.3 (4.8)

* カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2022年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑩就職予定先を選ぶ際の重視点

就職予定先を選ぶ際の重視点は、大学生は「勤務地」「業種」「勤務時間・休暇」「給与水準」の順に割合が高い。大学院生は「業種」「勤務地」「給与水準」「職種」の順に割合が高い。

就職予定先を選ぶ際の重視点は、大学生は「勤務地」「業種」「勤務時間・休暇」「給与水準」の順に割合が高い。大学院生は「業種」「勤務地」「給与水準」「職種」の順に割合が高い。(図表18)

図表18 就職予定先を選ぶ際の重視点(複数回答、単位=%)

	大学生		文系		理系		東 北 海 道 ・	関 東	中 部	近 畿	四 国 ・ 中 国	九 州	大 学 院 生		
	(n=)	(1,536)	(1,025)	国 公 立	私 立	(511)								国 公 立	私 立
業種		46.5	45.2	42.6	45.5	49.3	54.5	47.2	39.0	48.5	46.9	43.8	51.8	49.0	55.9
職制(コース)※1		21.5	24.8	27.1	24.5	15.0	12.7	15.9	19.7	24.2	22.1	18.4	9.9	29.7	24.3
職種※2		31.8	30.4	34.2	29.8	34.5	35.6	34.1	26.8	36.6	29.0	26.3	28.0	40.7	37.5
勤務地		46.8	49.7	42.5	50.7	40.9	41.7	40.6	52.0	46.9	46.5	46.4	41.8	45.8	48.0
雇用形態		21.1	21.1	20.6	21.1	21.2	17.7	22.6	21.3	23.7	18.8	16.9	22.0	25.6	23.7
民間企業・団体か、 それ以外(公務員・教員など)か		10.1	10.1	11.5	9.8	10.0	15.0	8.0	10.8	12.0	5.8	6.4	14.8	17.0	14.5
外資企業・団体か 内資企業・団体か※3		5.7	6.2	7.4	6.0	4.6	4.0	4.9	4.4	6.9	3.9	6.3	6.1	0.9	5.3
大学・大学院の専攻やこれまでの 経験・取得資格を活かせるか		14.2	12.9	15.8	12.5	16.8	19.3	15.8	18.2	13.4	15.8	12.5	12.5	18.2	34.9
従業員規模		7.7	7.5	5.9	7.8	8.2	8.7	8.0	4.4	10.0	7.9	5.8	2.4	10.5	9.2
知名度		10.0	10.2	9.7	10.2	9.5	7.7	10.3	6.8	13.7	9.0	6.1	6.9	10.7	15.1
経営理念・ビジョン		14.4	14.2	13.6	14.3	14.7	12.4	15.7	16.7	15.7	9.7	11.2	30.3	10.5	17.8
事業の安定性・将来性		24.8	25.3	27.3	25.0	23.7	23.7	23.7	16.4	29.4	22.2	21.7	29.0	21.3	27.6
給与水準		32.6	30.1	33.5	29.7	37.5	35.3	38.4	39.0	35.4	27.9	28.4	32.4	34.2	39.5
勤務時間・休暇		36.0	37.4	37.2	37.5	33.0	32.2	33.4	36.8	36.3	34.8	35.7	42.3	30.7	34.2
組織風土・職場の人間関係		20.7	22.3	25.7	21.8	17.7	12.5	19.8	20.5	25.8	13.6	18.6	20.0	17.4	27.6
内定取得の可能性		18.6	20.8	22.1	20.7	14.1	12.3	14.8	16.1	22.7	16.1	14.9	17.3	17.8	16.4
就職活動の負荷・手間		10.6	10.9	9.5	11.1	10.1	13.7	8.6	6.9	13.2	9.2	9.3	7.0	12.0	9.9
その他		4.8	5.3	6.9	5.0	3.8	0.4	5.2	7.0	6.6	2.8	2.3	1.9	7.7	0.7

※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑪在学中に実施したこと

**在学中に実施した活動は、大学生で「アルバイト」、大学院生で「修論」の割合が最も高い。
大学生は「インターンシップ・1day仕事体験」「趣味」がやや増加している。**

在学中に実施した活動は、大学生は「アルバイト」、大学院生は「修論」の割合が最も高い。属性別にみると、文系大学生より理系大学生の方が「卒論、卒業研究」の割合が高い。

2022年調査と比べると、大学生では「インターンシップ・1day仕事体験」「趣味など、自分の興味がある分野の活動」がやや増加しているものの、多くの項目で減少している。特に理系大学生では「ゼミや研究室での活動」「卒論、卒業研究」の割合が減少している。(図表19)

図表19 在学中に実施した活動(複数回答、単位=%)

	大学生				理系			東 北 海 道 ・ 関 東	中 部	近 畿	四 国 ・ 中 国	九 州	大 学 院 生	
	(n=)	文系	国 立	私 立	国 立	私 立	私 立							
海外留学	6.9 (-2.6)	6.6 (-4.6)	6.3 (-10.8)	6.6 (-3.7)	7.4 (1.2)	6.9 (-1.2)	7.6 (2.4)	7.0 (-2.8)	7.3 (-3.3)	6.3 (-0.5)	6.4 (-2.4)	6.4 (-2.8)	7.9 (-4.5)	11.2 (1.2)
サークル活動	31.8 (-0.6)	31.6 (0.9)	39.2 (-6.5)	30.5 (1.9)	32.2 (-3.7)	41.1 (2.7)	28.5 (-6.2)	39.4 (1.2)	33.4 (-3.6)	28.0 (6.5)	31.3 (-1.0)	31.3 (-13.6)	23.1 (0.8)	36.8 (-5.3)
部活動	19.2 (-1.8)	18.4 (-0.6)	25.1 (1.4)	17.5 (-0.8)	20.6 (-4.4)	22.9 (-5.1)	19.7 (-4.0)	20.9 (4.4)	19.2 (-0.5)	13.6 (-14.9)	18.6 (-4.2)	29.5 (16.5)	23.3 (9.0)	24.3 (-1.4)
ボランティア	18.8 (-0.1)	18.8 (-1.7)	24.0 (3.1)	18.0 (-2.4)	18.9 (3.0)	21.0 (2.7)	18.1 (3.3)	26.3 (3.1)	19.6 (1.6)	15.8 (-3.9)	15.2 (-3.0)	24.0 (-4.6)	19.8 (6.2)	19.1 (1.2)
アルバイト	72.1 (-2.4)	72.6 (-1.5)	73.7 (0.4)	72.4 (-1.7)	71.2 (-4.3)	73.4 (6.0)	70.3 (-9.0)	63.4 (-11.5)	76.3 (-2.4)	69.3 (-1.7)	67.9 (-6.3)	81.6 (10.9)	71.1 (7.3)	78.9 (5.4)
インターンシップ・ 1day仕事体験	41.1 (2.6)	41.2 (2.5)	40.4 (-6.3)	41.4 (3.8)	40.7 (2.8)	41.4 (0.2)	40.4 (4.2)	27.1 (-4.7)	49.2 (6.6)	43.4 (5.8)	35.1 (-1.3)	37.2 (8.6)	28.4 (-8.0)	55.9 (1.6)
公務員・教員採用試験のための 教育・学習活動	12.2 (0.5)	12.9 (-0.7)	26.7 (3.6)	11.0 (-1.4)	10.8 (2.9)	10.2 (-2.3)	11.0 (5.3)	8.8 (-7.0)	11.6 (-1.1)	13.4 (3.6)	10.6 (3.2)	14.6 (-4.9)	21.6 (8.2)	12.5 (3.2)
英語などの外国語学習	15.5 (-2.3)	16.6 (-2.1)	20.3 (-7.3)	16.1 (-1.4)	13.4 (-2.7)	20.7 (-2.3)	10.4 (-2.5)	12.0 (-1.4)	18.2 (-0.5)	16.8 (-0.4)	12.6 (-5.7)	14.1 (0.4)	12.2 (-8.2)	31.6 (1.6)
趣味など、自分の興味がある 分野の活動	41.6 (1.6)	43.5 (2.4)	46.3 (-3.2)	43.1 (3.2)	37.8 (-0.1)	38.3 (2.4)	37.6 (-1.3)	32.4 (-5.6)	46.6 (5.8)	44.8 (6.7)	39.3 (-3.4)	27.6 (-8.0)	36.9 (-2.4)	49.3 (3.6)
スポーツ関連の活動	9.4 (-3.9)	8.9 (-4.5)	13.1 (-2.5)	8.3 (-4.8)	10.4 (-2.7)	16.6 (1.3)	7.8 (-4.3)	10.3 (-6.0)	8.8 (-3.5)	6.8 (-11.4)	12.3 (1.6)	4.7 (-6.2)	13.5 (1.3)	12.5 (1.8)
資格取得・検定受験のための 学習活動	35.5 (-0.4)	35.6 (-0.3)	34.7 (-7.1)	35.8 (0.6)	35.3 (-0.5)	34.8 (-4.6)	35.5 (1.4)	33.7 (-1.5)	35.6 (-0.4)	38.9 (3.6)	34.2 (-2.8)	39.8 (4.1)	28.2 (-6.8)	32.2 (-3.5)
ゼミや研究室での活動	50.3 (-2.9)	50.6 (-0.7)	50.6 (-9.3)	50.6 (0.5)	49.7 (-7.4)	48.3 (-10.6)	50.3 (-6.0)	52.5 (-0.7)	51.8 (-4.9)	50.3 (-2.2)	51.3 (-0.3)	43.3 (-3.3)	40.8 (-4.8)	71.1 (-3.9)
授業への出席	59.9 (-1.3)	60.7 (-0.8)	60.3 (-9.9)	60.8 (0.4)	58.2 (-2.1)	59.6 (0.4)	57.7 (-3.3)	58.2 (0.6)	64.9 (-0.5)	55.6 (-8.6)	58.6 (1.7)	53.7 (-6.2)	53.0 (6.5)	70.4 (-5.3)
卒論、卒業研究／修論	55.8 (-3.6)	53.0 (-2.2)	57.9 (-1.2)	52.3 (-2.3)	61.6 (-6.4)	60.4 (-8.9)	62.1 (-5.3)	48.5 (-11.4)	55.2 (-4.2)	59.4 (-2.4)	58.1 (2.1)	63.0 (-2.0)	44.2 (-14.2)	83.6 (1.4)
あてはまるものはない	4.7 (0.6)	6.1 (1.8)	6.4 (3.5)	6.1 (1.6)	1.9 (-1.7)	0.7 (-5.0)	2.4 (-0.3)	3.9 (0.3)	4.2 (1.1)	3.6 (-2.7)	5.5 (1.1)	2.9 (2.9)	11.7 (5.6)	1.3 (-1.5)

*カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。*属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

*2022年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い青色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑫就職活動による各活動への支障状況

就職活動による各活動への支障状況は、大学生で「アルバイト」、大学院生で「大学の授業・研究」の割合が最も高い。大学生はほとんどの活動で減少している。

就職活動による各活動への支障状況(*)は、大学生では「アルバイト」の割合が最も高い。次いで「部活動」が高い。大学院生では「大学の授業・研究」の割合が最も高い。次いで「趣味など、自分の興味がある分野の活動」が高い。

2022年調査と比べると、大学生では「インターンシップ・1day仕事体験」以外の活動の割合が減少している。理系大学生では「スポーツ関連の活動」「海外留学」「部活動」が大幅に減少している。(図表20)

*それぞれの項目について、「支障が生じた」「やや支障が生じた」「あまり支障は生じなかった」「支障は生じなかった」の単一回答のうち、「支障が生じた」「やや支障が生じた」の計

図表20 各活動実施者の就職活動による活動への支障状況(各単一回答、単位=%)

※各実施者ベース

	大学生			大学院生	▼回答者数(単位=人)			
	文系	理系	平均		大学生	文系	理系	大学院生
大学の授業・研究	34.1 (-1.7)	32.9 (0.4)	36.6 (-5.8)	50.0 (8.6)	1,536	1,025	511	152
海外留学	25.0 (-1.3)	23.7 (2.5)	27.3 (-17.6)	29.4 (15.1)	105	67	38	17
サークル活動	24.4 (-2.8)	20.8 (-0.6)	31.4 (-5.8)	7.1 (-1.3)	488	324	164	56
部活動	38.5 (-5.5)	41.1 (1.9)	33.7 (-17.6)	5.4 (-11.3)	294	189	105	37
ボランティア	22.6 (-3.6)	19.6 (-3.5)	28.4 (-5.5)	17.2 (1.2)	289	192	97	29
アルバイト	41.1 (-2.7)	43.1 (-1.9)	36.9 (-4.5)	35.8 (0.9)	1,107	744	364	120
インターンシップ・1day仕事体験	20.8 (0.1)	20.1 (0.4)	22.4 (-0.7)	20.0 (1.6)	631	423	208	85
資格取得・語学習得など 大学外の学習	24.3 (-1.8)	23.9 (0.3)	25.1 (-6.1)	21.7 (7.4)	1,536	1,025	511	152
趣味など、自分の興味がある 分野の活動	36.5 (-3.1)	35.4 (-3.6)	39.1 (-1.9)	37.3 (9.2)	639	446	193	75
スポーツ関連の活動	30.6 (-11.3)	29.2 (-8.4)	32.9 (-17.8)	15.8 (-30.9)	144	91	53	19

カッコ内は2022年とのスコア差を掲載。 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2022年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
(回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満の値は灰色にした。

⑬自己分析・企業研究等への自己評価【就職活動を開始した当初】

就職予定先に「勤続志向」であった学生は、就職活動を開始した当初の自己分析・企業研究等が十分であったと自己評価している傾向がある。

就職予定先に「勤続志向」(*)¹であった学生は、就職活動を開始した当初の自己分析・企業研究等について十分・計(*)²であったと自己評価する割合が高い。一方、「転職志向」(*)³であった学生は、就職活動を開始した当初の自己分析・企業研究等について十分・計であったと自己評価する割合が低く、「すぐに転職したいと思っている」と回答した学生においては、「企業研究」について特に割合が低い。(図表21-1)

*¹「その企業・団体等ですべて仕事を続けたい」「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい」

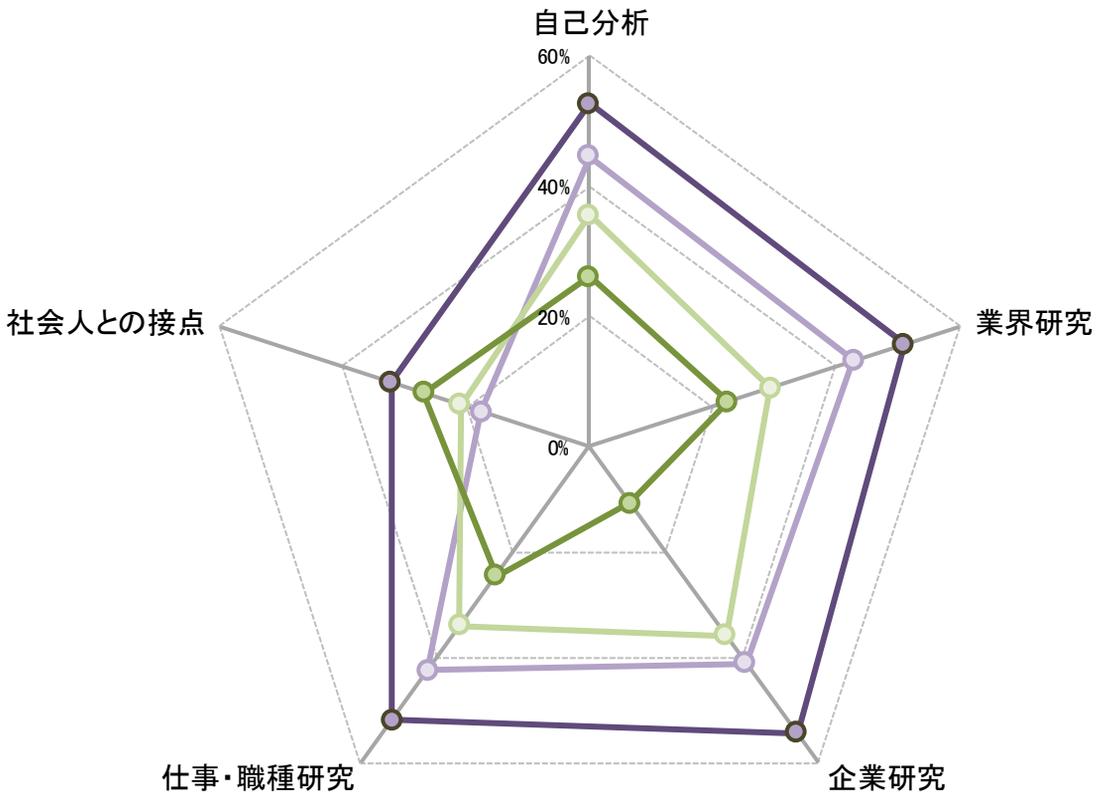
*² それぞれの項目について、「十分」「どちらかという十分」「どちらかという不十分」「不十分」「やっていない」の単一回答(無回答含む)のうち、「十分」「どちらかという十分」の計

*³「転職することも視野に入れている」「すぐに転職したいと思っている」

図表21-1 自己分析・企業研究等への自己評価【就職活動を開始した当初】(各単一回答、単位=%)
※スコアは十分・計

※就職確定者ベース

- 勤続志向: その企業・団体等ですべて仕事を続けたい (n=507)
- 勤続志向: 当面はその企業・団体等で仕事を続けたい (n=673)
- 転職志向: 転職することも視野に入れている (n=293)
- 転職志向: すぐに転職したいと思っている (n=39)



⑬自己分析・企業研究等への自己評価【就職活動を開始した当初】

図表21-2 自己分析・企業研究等への自己評価【就職活動を開始した当初】

※スコアは十分・計

		自己分析	業界研究	企業研究	仕事・職種研究	社会人との接点
	n=					
大学生	1,536	43.1	40.7	42.3	41.4	22.2
文系	1,025	41.9	38.0	41.7	39.1	21.9
国公立	127	48.1	42.3	46.4	48.8	23.2
私立	898	41.1	37.4	41.0	37.7	21.8
理系	511	45.6	46.1	43.4	46.0	22.7
国公立	150	58.2	54.5	49.5	49.7	24.3
私立	361	40.3	42.7	40.9	44.5	22.1
北海道・東北	135	44.6	44.4	47.6	48.7	29.5
関東	600	45.6	43.4	42.4	45.9	23.2
中部	261	37.7	35.9	38.0	34.3	17.1
近畿	352	40.4	38.2	43.6	36.3	16.4
中国・四国	98	52.8	43.9	43.0	51.9	30.1
九州	90	40.0	37.4	39.5	29.5	33.8
大学院生	152	48.0	43.4	42.8	46.1	26.3

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑭就職予定先に対するイメージ

就職予定先に「勤続志向」であった学生は、「就職予定先は理想通りの企業(団体)だと思」「就職予定先で成長することができそうだ」などのイメージを持っている。

就職予定先に「勤続志向」(*)であった学生は、就職予定先のイメージについてあてはまる・計(*)の割合が高い。特に「その企業・団体等ですっと仕事を続けたい」と回答した学生では、「就職予定先は理想通りの企業(団体)だと思」「就職予定先で成長することができそうだ」などの項目について、他の学生に比べてあてはまる・計の割合が高い。「すぐに転職したいと思っている」と回答した学生では、特に「仕事をする上で目標となる人がいそうだ(できそうだ)」「就職予定先に対する不満がない」「就職予定先に対する不安がない」について、あてはまる・計の割合が低い。(図表22-1)

*1 「その企業・団体等ですっと仕事を続けたい」「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい」

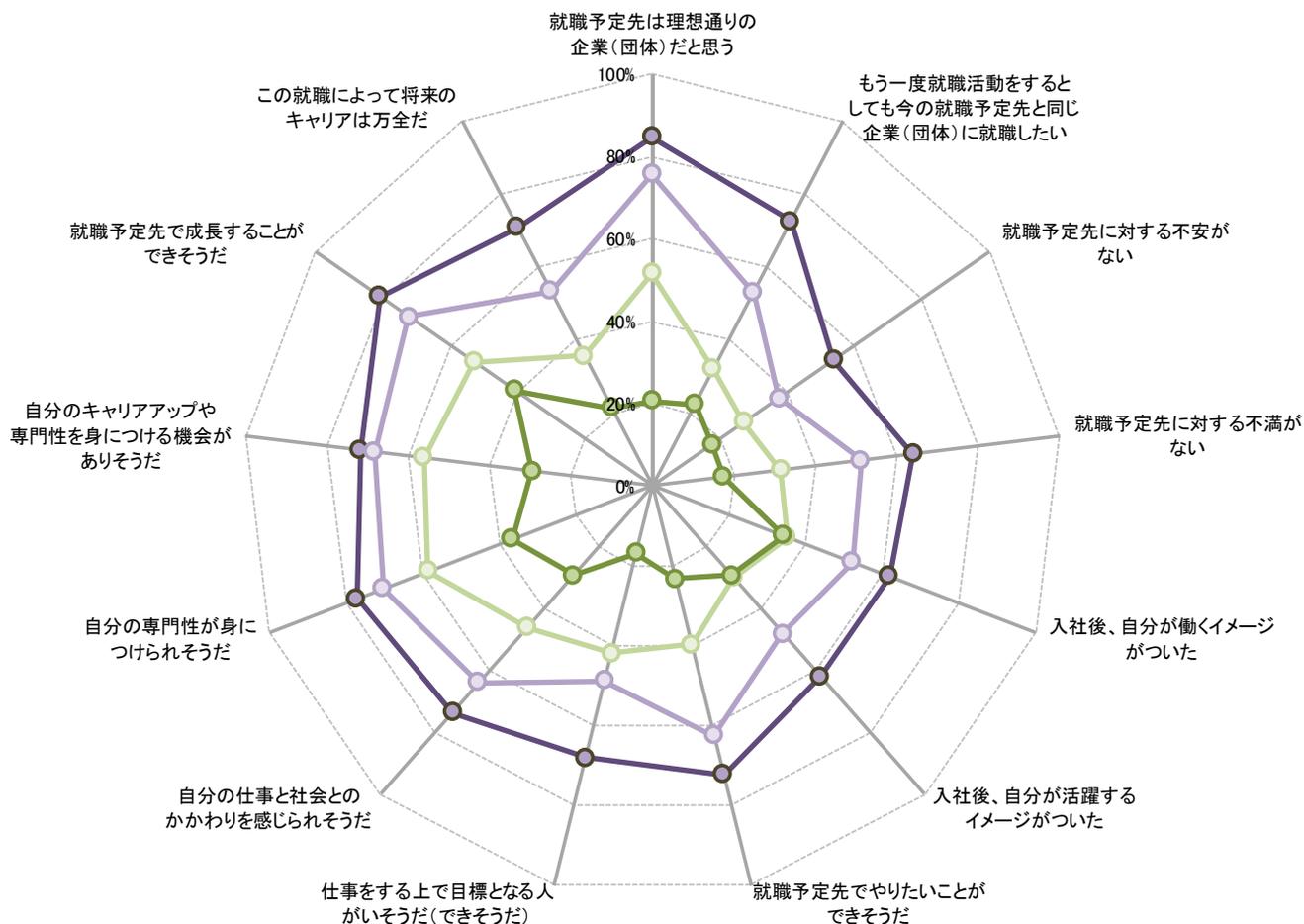
*2 それぞれの項目について、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」「どちらかというにあてはまらない」「あてはまらない」「わからない」の単一回答のうち、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の計

図表22-1 就職予定先に対するイメージ(各単一回答、単位=%)

※スコアはあてはまる・計

※就職確定者ベース

- 勤続志向: その企業・団体等ですっと仕事を続けたい (n=507)
- 勤続志向: 当面はその企業・団体等で仕事を続けたい (n=673)
- 転職志向: 転職することも視野に入れている (n=293)
- 転職志向: すぐに転職したいと思っている (n=39)



⑭就職予定先に対するイメージ

図表22-2 就職予定先のイメージ(各単一回答、単位=%)

※スコアはあてはまる・計

	大学生	文系			理系			東 北 海 道 ・	関 東	中 部	近 畿	四 国 ・ 中 国	九 州	大 学 院 生
	(n=)	(1,025)	(127)	(898)	(511)	(150)	(361)							
就職予定先は理想通りの企業(団体)だと思ふ	64.1	63.9	65.6	63.6	64.5	60.4	66.2	59.2	66.0	66.2	61.4	77.5	47.9	75.0
もう一度就職活動をするとしても今の就職予定先と同じ企業(団体)に就職したい	48.5	48.8	52.9	48.2	47.8	46.4	48.4	47.7	51.5	48.7	46.9	53.1	29.2	53.9
就職予定先に対する不安がない	36.1	35.4	37.4	35.1	37.5	37.5	37.5	49.9	38.7	30.6	34.3	37.4	19.4	38.2
就職予定先に対する不満がない	44.7	42.7	49.0	41.8	48.6	44.9	50.1	49.6	47.4	42.6	42.6	50.1	27.3	55.3
入社後、自分が働くイメージが合った	45.5	43.8	51.5	42.8	48.7	48.3	48.9	39.4	48.5	43.7	43.3	54.8	37.6	53.9
入社後、自分が活躍するイメージが合った	43.3	43.1	46.9	42.6	43.5	38.9	45.3	49.4	45.0	43.1	38.3	53.1	31.4	46.7
就職予定先でやりたいことができそう	53.2	53.9	60.5	53.0	51.8	43.9	55.0	49.0	54.5	55.0	50.5	66.1	42.6	62.5
仕事をする上で目標となる人がいそう(できそう)	46.7	47.6	54.8	46.6	44.9	44.4	45.2	50.5	46.0	48.3	45.2	53.0	40.7	56.6
自分の仕事と社会とのかかわりを感じられそう	55.7	58.3	56.9	58.5	50.5	51.3	50.2	57.7	57.3	58.8	49.8	69.0	42.1	61.2
自分の専門性が身につけられそう	61.5	60.7	55.1	61.5	63.3	62.3	63.7	64.2	62.0	61.7	59.8	75.9	45.4	69.1
自分のキャリアアップや専門性を身につける機会がありそう	58.9	57.7	62.4	57.0	61.3	57.2	62.9	61.8	58.9	57.2	57.4	68.1	54.4	63.8
就職予定先で成長することができそう	62.6	63.0	67.4	62.3	61.8	50.7	66.4	62.4	64.7	62.6	59.1	73.5	50.3	69.7
この就職によって将来のキャリアは万全だ	48.7	47.0	48.2	46.8	52.2	49.2	53.4	45.1	51.2	49.8	44.1	60.6	39.2	55.9

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑮大学・大学院の就職支援で役立った点

就職予定先に「勤続志向」の学生は、「転職志向」の学生と比べて「自己分析に関するガイダンス・セミナー」が役立ったと評価している割合が高い。

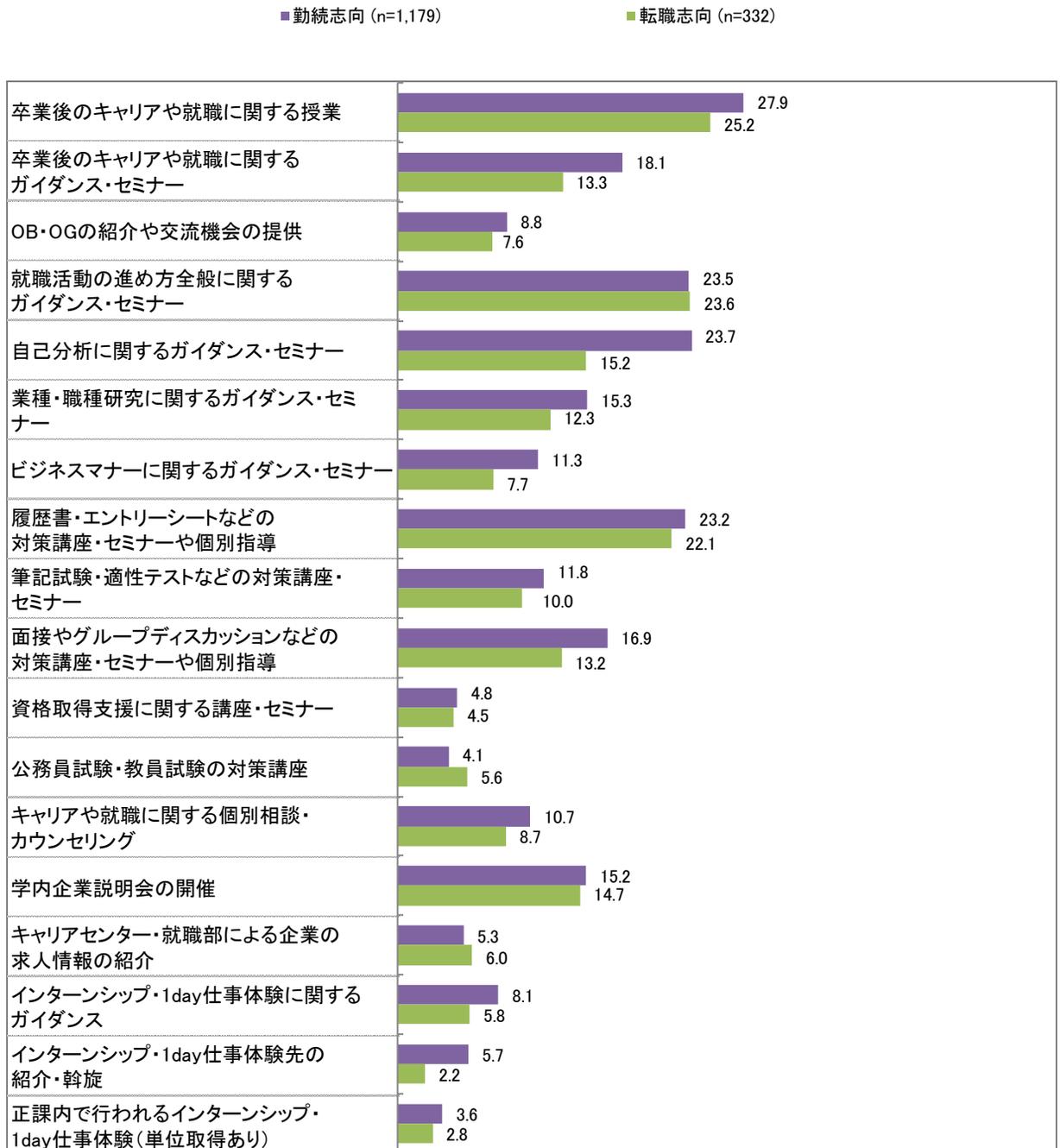
就職予定先に「勤続志向」(*¹)であった学生は「転職志向」(*²)であった学生と比べて、大学・大学院の就職支援で「自己分析に関するガイダンス・セミナー」が役立ったと評価している割合が高い。(図表23-1)

*¹「その企業・団体等ですっと仕事を続けたい」「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい」

*²「転職することも視野に入れている」「すぐに転職したいと思っている」

図表23-1 大学・大学院の就職支援で役立った点(複数回答、単位=%)

※就職確定者ベース



⑮大学・大学院の就職支援で役立った点

図表23-2 大学・大学院の就職支援で役立った点(複数回答、単位=%)

	属性													
	大学生 (n=)	文系 (1,025)	国公立 (127)	私立 (898)	理系 (511)	国公立 (150)	私立 (361)	東北 北海道 (135)	関東 (600)	中部 (261)	近畿 (352)	四国 中国 (98)	九州 (90)	大学院生 (152)
卒業後のキャリアや就職に関する授業	28.7	27.3	25.5	27.5	31.6	37.7	29.1	38.7	26.4	30.1	25.8	31.1	33.7	17.8
卒業後のキャリアや就職に関するガイダンス・セミナー	17.8	16.7	15.9	16.8	20.0	22.0	19.2	21.6	17.1	19.4	14.8	18.1	23.3	12.5
OB・OGの紹介や交流機会の提供	8.5	7.1	9.7	6.7	11.3	10.8	11.5	12.1	8.9	8.7	5.3	7.6	12.5	5.3
就職活動の進め方全般に関するガイダンス・セミナー	22.8	23.5	19.0	24.1	21.4	16.4	23.5	31.0	21.9	21.9	22.0	24.9	20.1	23.0
自己分析に関するガイダンス・セミナー	21.9	22.5	19.0	23.0	20.7	21.2	20.5	32.5	20.2	19.0	20.8	31.1	20.6	19.7
業種・職種研究に関するガイダンス・セミナー	14.4	14.8	11.9	15.2	13.6	7.7	16.0	13.9	15.3	11.8	14.6	19.9	10.2	13.2
ビジネスマナーに関するガイダンス・セミナー	10.8	10.7	8.9	10.9	11.1	8.8	12.1	11.4	12.8	12.4	7.3	10.4	5.9	3.9
履歴書・エントリーシートなどの対策講座・セミナーや個別指導	23.7	22.4	12.5	23.8	26.2	23.7	27.2	25.6	20.5	27.9	21.5	35.2	26.0	13.8
筆記試験・適性テストなどの対策講座・セミナー	12.2	12.2	8.9	12.6	12.3	14.8	11.2	16.2	11.1	13.7	11.5	15.8	7.6	7.2
面接やグループディスカッションなどの対策講座・セミナーや個別指導	16.2	16.9	13.7	17.3	15.0	15.4	14.8	15.8	17.4	15.7	14.0	17.7	17.4	14.5
資格取得支援に関する講座・セミナー	5.5	5.6	2.4	6.1	5.1	8.6	3.6	4.7	5.3	7.3	5.2	6.2	2.0	0.7
公務員試験・教員試験の対策講座	4.8	4.9	9.2	4.3	4.8	5.5	4.5	5.0	3.8	5.8	4.6	8.0	6.6	2.6
キャリアや就職に関する個別相談・カウンセリング	10.0	10.6	8.1	11.0	8.8	6.5	9.7	8.4	10.2	12.7	8.4	11.6	8.6	7.2
学内企業説明会の開催	14.6	13.3	8.5	13.9	17.3	8.8	20.8	15.9	13.1	15.4	12.4	22.0	21.2	14.5
キャリアセンター・就職部による企業の求人情報の紹介	5.5	4.6	3.6	4.7	7.3	5.6	8.0	7.6	6.7	5.6	3.1	5.6	3.1	3.9
インターンシップに関するガイダンス	7.8	7.5	6.3	7.7	8.5	11.1	7.4	6.3	8.1	10.4	4.8	15.8	4.0	7.9
インターンシップ先の紹介・斡旋	4.9	4.8	9.8	4.0	5.1	4.0	5.6	8.1	3.3	9.0	2.8	6.4	5.1	5.9
正課内で行われるインターンシップ(単位取得あり)	3.5	3.6	6.3	3.2	3.2	7.3	1.6	2.5	3.4	4.9	2.7	4.5	3.8	2.6

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑩自己分析・企業研究等への自己評価【就職活動を開始した当初】(大学低学年時のキャリア教育受講経験別)

必修・選択・正課以外に関わらず、大学低学年(1~2年)時にキャリア教育を受けている学生は、受けていない学生よりも就職活動開始当初の社会人との接点などへの自己評価がやや高い。

大学低学年(1~2年)時に、必修・選択・正課以外に関わらずキャリア教育を受けた学生(*)は、就職活動を開始した当初の自己分析・企業研究等について十分・計(**)であったと自己評価する割合が高い。一方、低学年時にはキャリア教育を受けていない学生は、就職活動を開始した当初の自己分析・企業研究等について十分・計であったと自己評価する割合が低く、特に「社会人との接点」について割合が低い。(図表24-1)

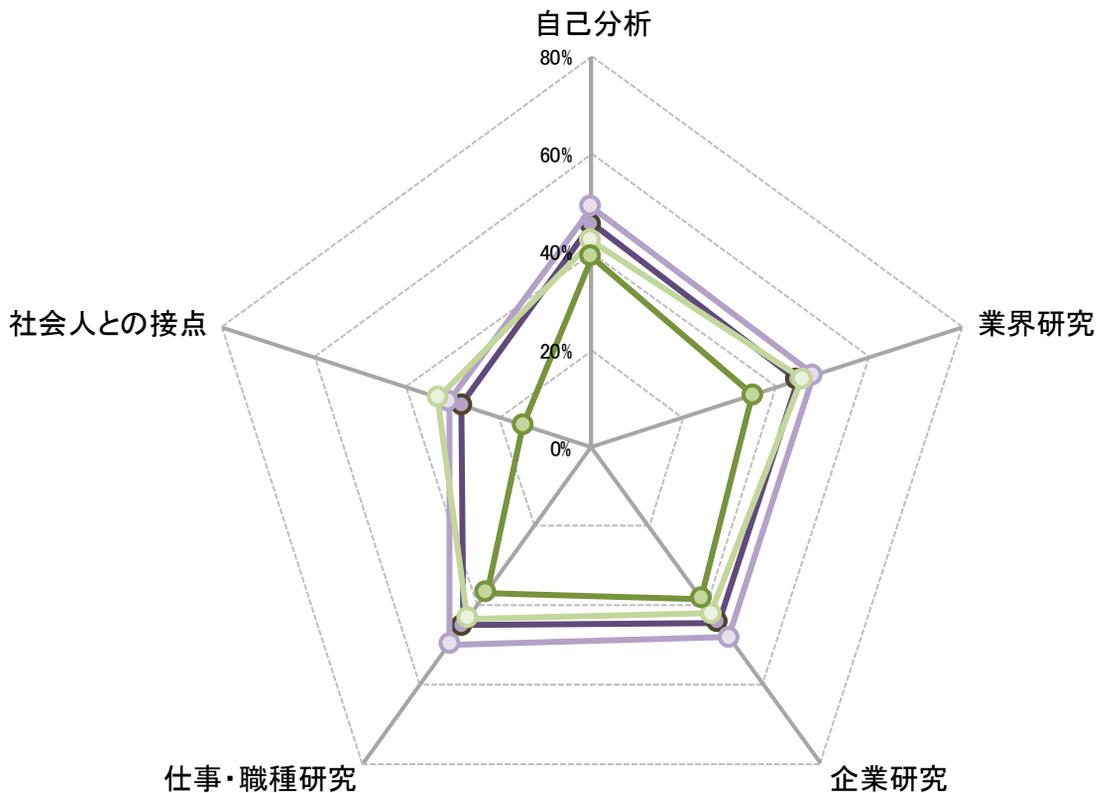
*¹ 大学低学年(1~2年)時におけるキャリア教育について「必修科目の授業を受けた」「選択科目の授業を受けた」「正課以外の講座を受けた(キャリアセンター主催等)」「低学年時には受けていない」の複数回答のうち、「低学年時には受けていない」(排他選択肢)以外のいずれかを選択した学生

*² それぞれの項目について、「十分」「どちらかというと十分」「どちらかというと不十分」「不十分」「やっていない」の単一回答(無回答含む)のうち、「十分」「どちらかというと十分」の計

図表24-1 自己分析・企業研究等への自己評価【就職活動を開始した当初】(各単一回答、単位=%)

※スコアは十分・計

- 必修科目の授業を受けた (n=880)
- 選択科目の授業を受けた (n=539)
- 正課以外の講座を受けた(キャリアセンター主催等) (n=137)
- 低学年時には受けていない (n=562)



⑩自己分析・企業研究等への自己評価【就職予定先を選んだ時点】(大学低学年時のキャリア教育受講経験別)

就職予定先を選んだ時点での自己分析や企業研究等への自己評価は、大学低学年(1～2年)時にキャリア教育を受けたかどうかによって左右されない。

しかし「社会人との接点」では、キャリア教育を受けていない学生の自己評価は低い。

大学低学年(1～2年)時に、必修・選択・正課以外に関わらずキャリア教育を受けた学生(*)と、低学年時にはキャリア教育を受けていない学生で、就職予定先を選んだ時点での自己分析・企業研究等について十分・計(*)と自己評価する割合に大きな差はない。しかし「社会人との接点」では、キャリア教育を受けていない学生の自己評価は低い。(図表24-2)

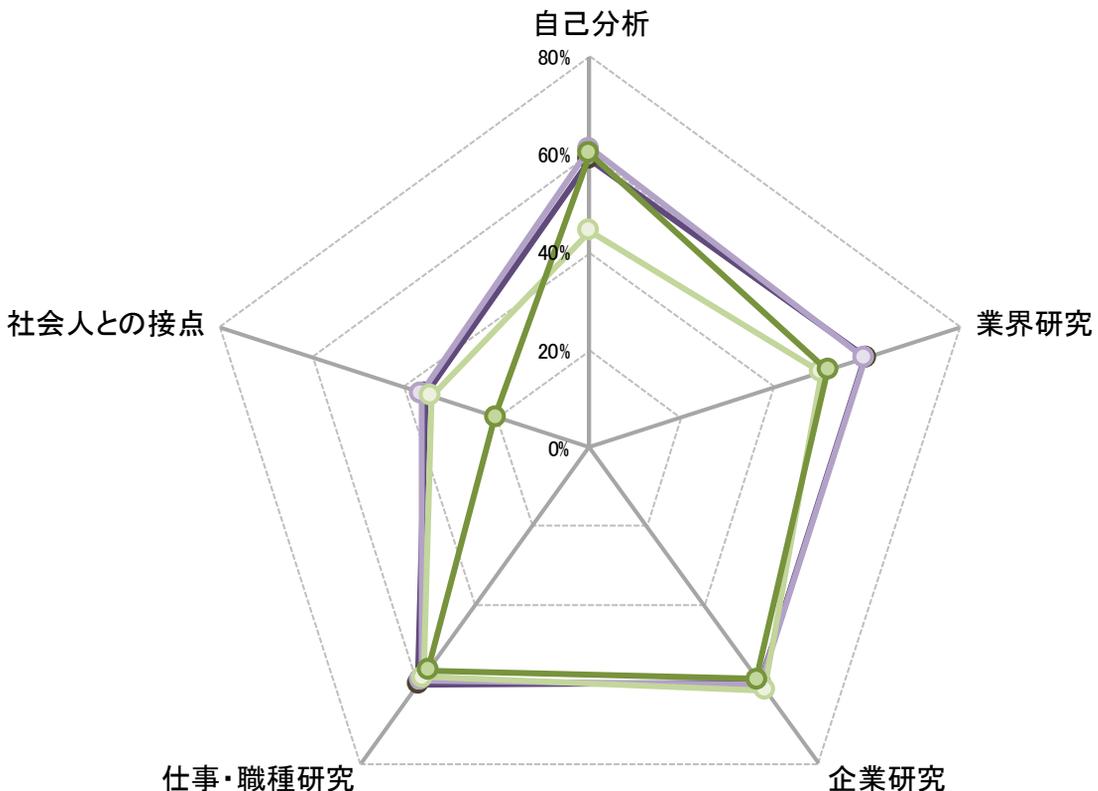
*1 大学低学年(1～2年)時におけるキャリア教育について「必修科目の授業を受けた」「選択科目の授業を受けた」「正課以外の講座を受けた(キャリアセンター主催等)」「低学年時には受けていない」の複数回答のうち、「低学年時には受けていない」(排他選択肢)以外のいずれかを選択した学生

*2 それぞれの項目について、「十分」「どちらかというと十分」「どちらかというと不十分」「不十分」「やっていない」の単一回答(無回答含む)のうち、「十分」「どちらかというと十分」の計

図表24-2 自己分析・企業研究等への自己評価【就職予定先を選んだ時点】(各単一回答、単位=%)

※スコアは十分・計

- 必修科目の授業を受けた (n=880)
- 選択科目の授業を受けた (n=539)
- 正課以外の講座を受けた(キャリアセンター主催等) (n=137)
- 低学年時には受けていない (n=562)



⑰従業員規模の志向

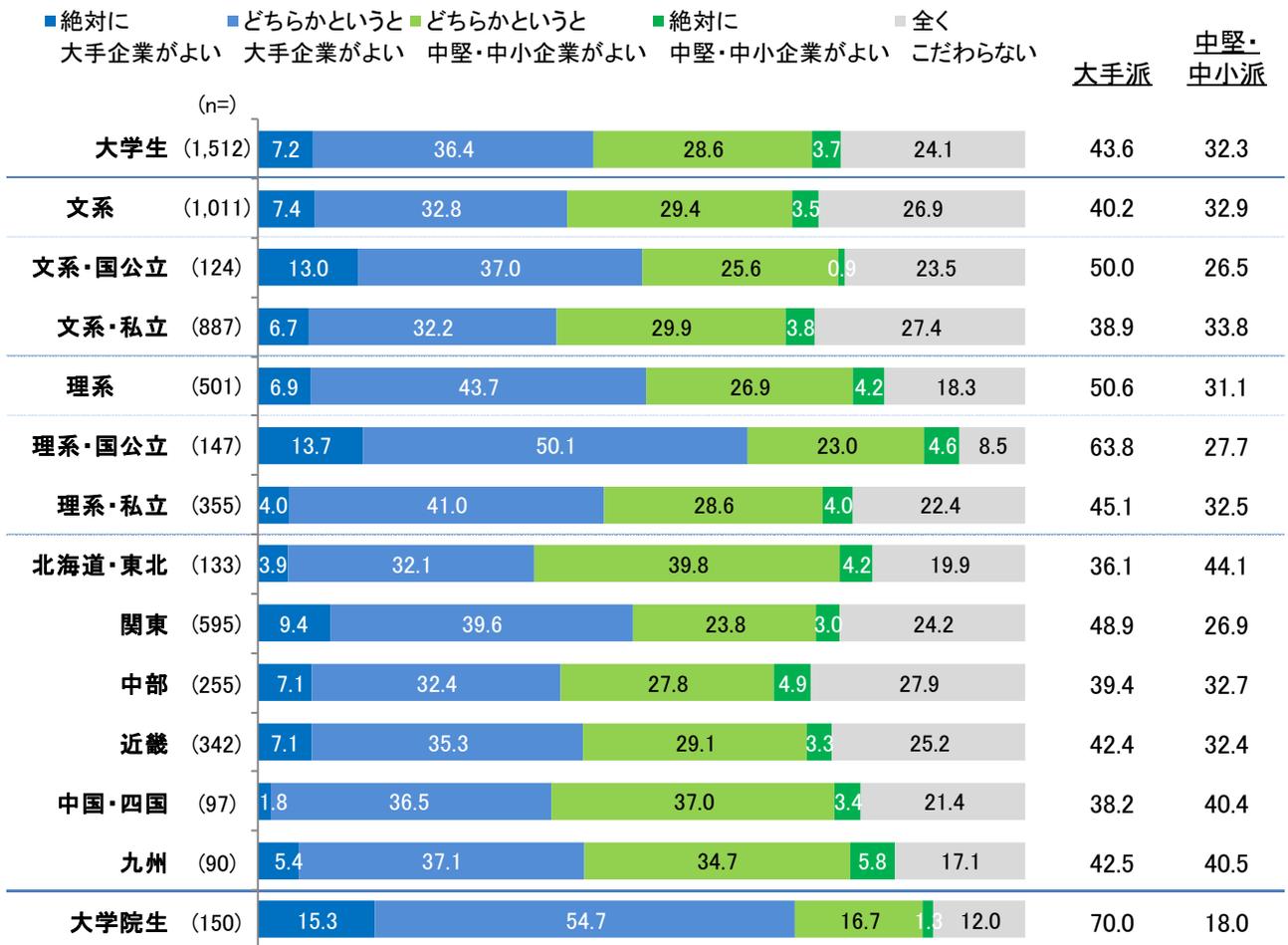
大学生の志望従業員規模は、「大手派」が4割前半、「中堅・中小派」が3割前半、「こだわらない派」が2割半ば。理系の国公立大学生や大学院生で、大手志向が強い。

就職活動の開始当初に志望した従業員規模は、大学生の4割前半、大学院生の7割が「大手派」と回答している。大学生の2割半ば、大学院生の1割前半が「全くこだわらない」（以下、こだわらない派）と回答している。

属性別にみると、理系の国公立大学生や大学院生では「大手派」の割合が高い。（図表25）

図表25 就職活動開始当初の志望従業員規模（単一回答、単位=%）

※企業就職志望者ベース



※大手派:「絶対に大手企業がよい」+「どちらかというと大手企業がよい」

※中堅・中小派:「どちらかというと中堅・中小企業がよい」+「絶対に中堅・中小企業がよい」

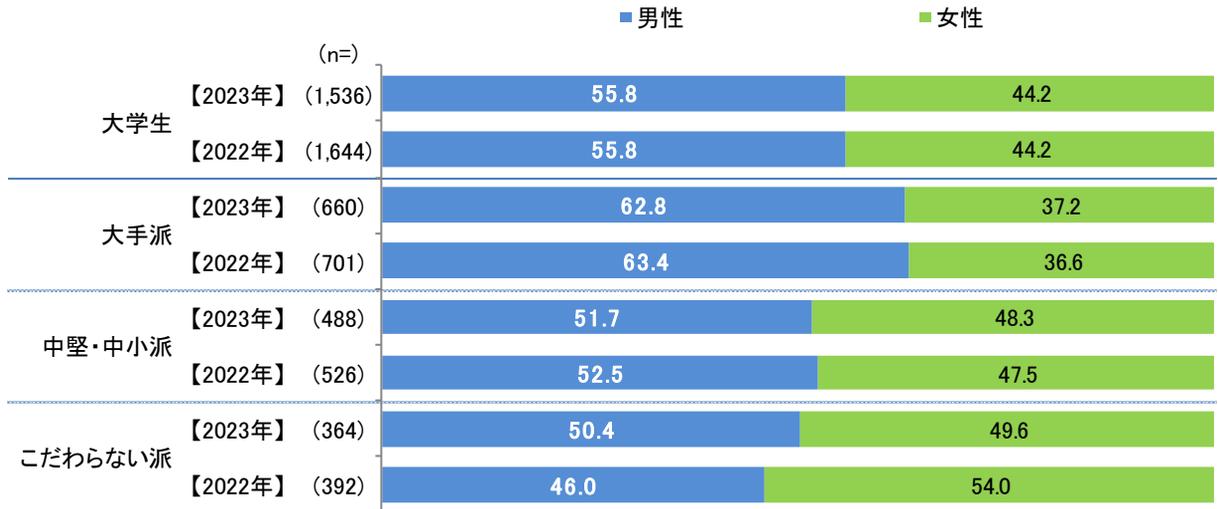
⑰従業員規模の志向

志望従業員規模別の属性は、「大手派」では、性別は「男性」、居住地は「関東」の割合が高い。(図表26、27)

志望従業員規模別の就職予定先の納得度は、全ての規模で8割以上が納得している・計と回答しているが、「中堅・中小派」は「納得している」の割合が他の規模と比べて低い。(図表28)

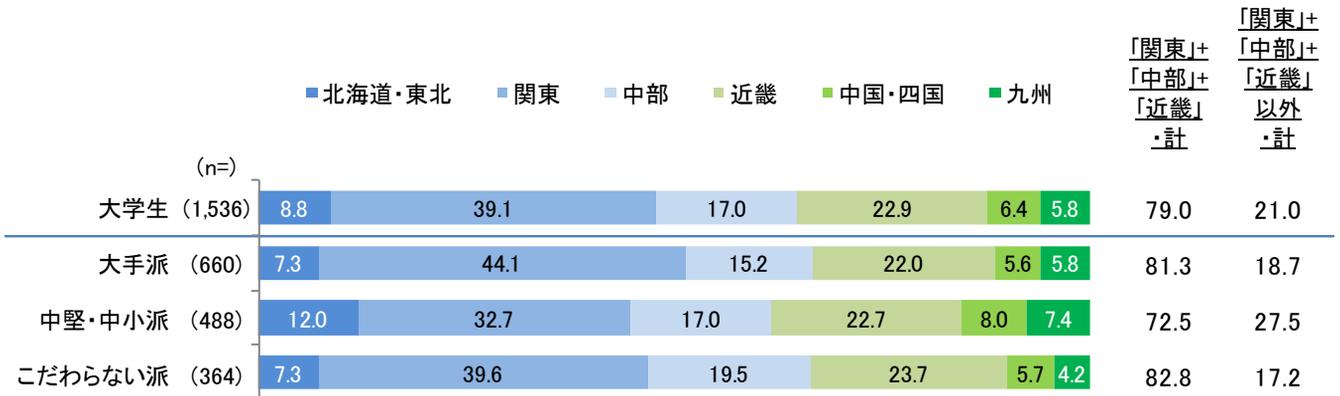
図表26 志望従業員規模別の性別(単一回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



図表27 志望従業員規模別の居住地(単一回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。

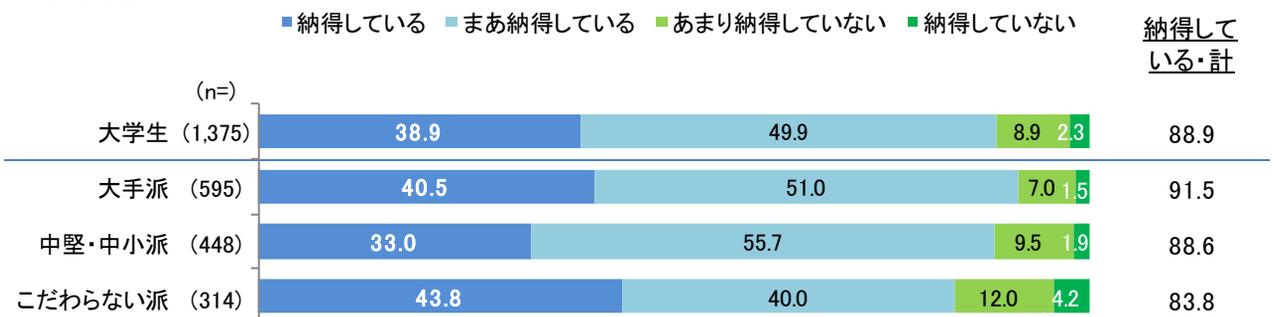


図表28 志望従業員規模別の就職予定先の納得度(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベースに限定して聴取。

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。

※就職確定者ベース



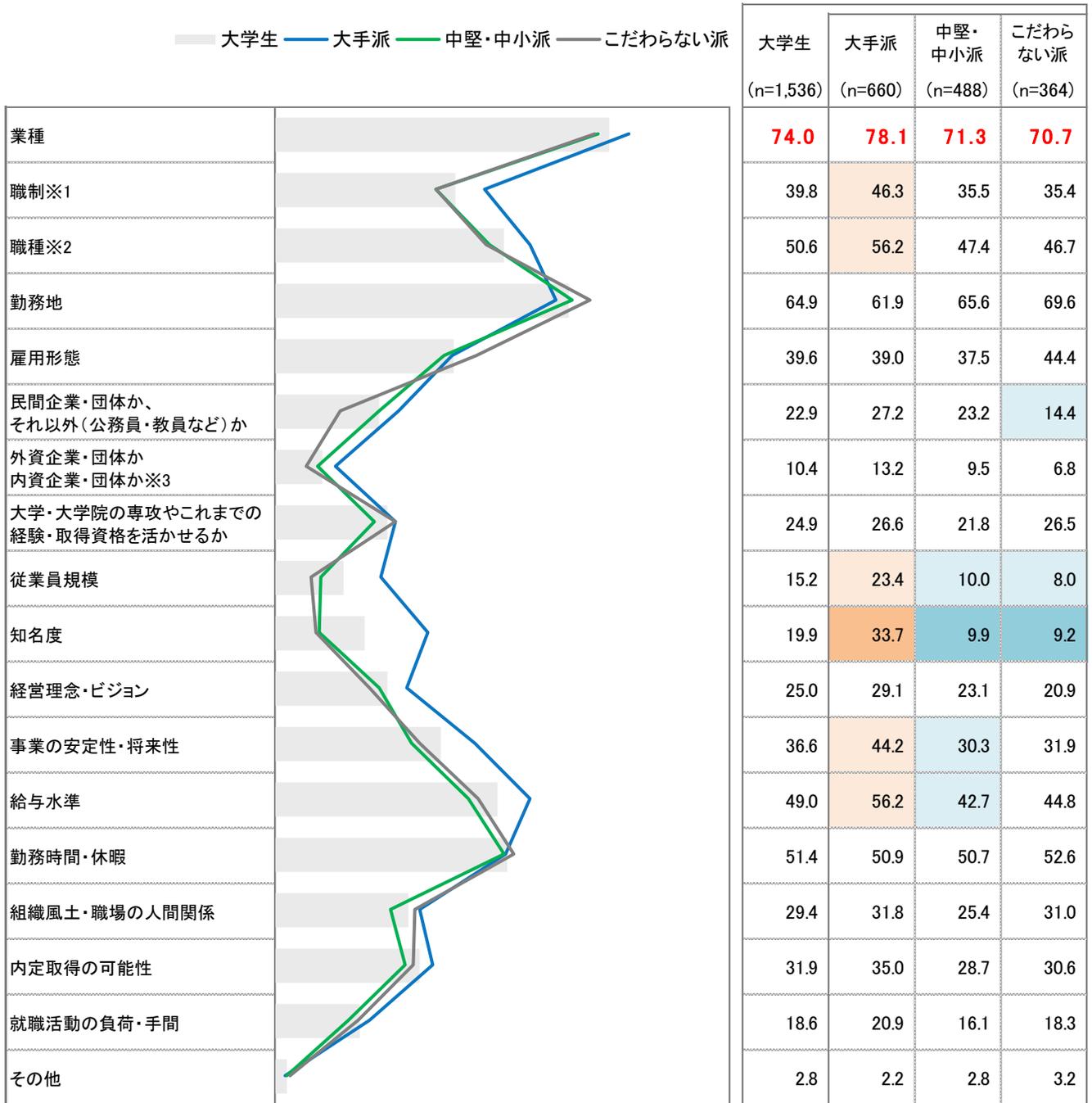
※納得している・計:「納得している」+「まあ納得している」

⑰従業員規模の志向

志望従業員規模別の就職活動開始当初の重視点は、「大手派」、「中堅・中小派」、「こだわらない派」のいずれも「業種」の割合が最も高い。
 大学生全体と比べると、「大手派」では「知名度」「従業員規模」「事業の安定性・将来性」「給与水準」「職制」「職種」などの重視度が高い。(図表29-1)

図表29-1 志望従業員規模別の就職活動開始当初の重視点(複数回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

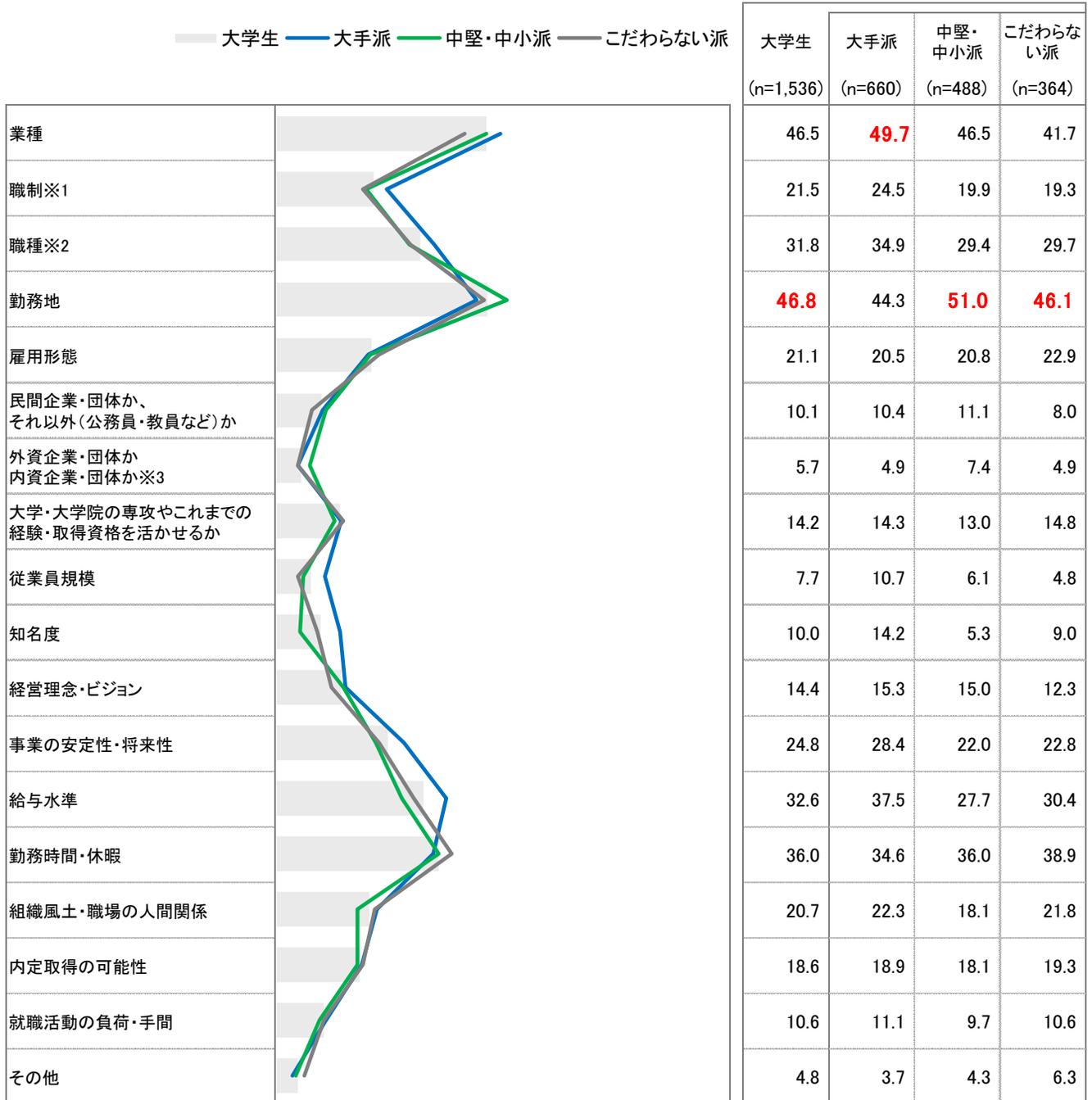
* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑰ 従業員規模の志向

志望従業員規模別の就職予定先を選ぶ際の重視点は、「大手派」で「業種」、「中堅・中小派」「こだわらない派」で「勤務地」の割合が最も高い。(図表29-2)

図表29-2 志望従業員規模別の就職予定先を選ぶ際の重視点(複数回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

**インターンシップ・1day仕事体験参加時期は、大学生で「大学3年生8月」の割合が最も高い。
初めて参加した時期は大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年の8月頃」の割合が最も高い。**

インターンシップ・1day仕事体験参加時期は、大学生で「大学3年生8月」の割合が最も高い。属性別にみると、文系の国公立大学生は「大学3年生9月」～「大学3年生1月」の割合が大学生全体に比べて高い。(図表30-1)

インターンシップ・1day仕事体験に初めて参加した時期は、大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年の8月頃」の割合が最も高い。(図表30-2)

図表30-1 インターンシップ・1day仕事体験に参加した時期(複数回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース

	大学生	文系		理系		北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州	大学院生		
	(n=)	(858)	国公立	私立	(427)								国公立	私立
大学入学前	1.6	1.1	2.1	1.0	2.7	5.6	1.5	1.7	1.2	1.1	1.4	3.5	5.4	2.3
大学1年生	3.4	3.6	2.4	3.7	3.0	5.2	2.2	2.6	5.3	2.5	0.8	2.4	6.0	2.3
大学2年生	6.7	8.2	5.3	8.6	3.7	4.6	3.3	5.0	6.3	7.8	4.7	7.9	15.2	2.3
大学3年生4月	5.4	5.4	6.1	5.3	5.2	4.7	5.4	10.0	6.6	3.7	4.6	3.5	-	2.3
大学3年生5月	3.3	4.4	5.0	4.3	1.2	0.4	1.6	0.7	3.8	4.8	3.0	2.6	1.0	2.3
大学3年生6月	10.8	11.8	13.9	11.5	8.9	8.7	9.1	4.4	11.9	10.7	14.4	6.9	2.8	4.5
大学3年生7月	21.4	23.3	22.3	23.5	17.5	21.3	15.9	21.2	22.8	23.3	20.9	17.0	12.5	6.0
大学3年生8月	35.8	36.0	38.0	35.7	35.5	40.5	33.4	28.7	38.0	44.3	30.6	31.8	28.9	19.5
大学3年生9月	24.0	26.6	29.0	26.3	18.6	20.2	18.0	10.5	28.7	23.1	24.4	19.2	16.7	9.8
大学3年生10月	22.0	21.8	30.3	20.7	22.2	6.2	28.8	13.0	27.7	20.7	19.9	21.5	7.3	4.5
大学3年生11月	17.5	19.0	23.8	18.3	14.3	11.0	15.8	14.7	21.3	15.7	14.6	15.7	13.4	9.0
大学3年生12月	23.1	24.4	29.9	23.7	20.3	14.8	22.6	23.7	25.3	24.1	20.3	25.5	12.1	6.8
大学3年生1月	18.0	18.9	24.3	18.2	16.3	13.3	17.5	16.3	19.2	17.3	16.5	23.8	15.3	9.8
大学3年生2月	16.8	17.2	19.6	16.9	15.9	6.0	20.0	6.6	18.9	15.2	15.7	30.2	12.0	9.0
大学3年生3月	11.9	11.9	7.9	12.5	11.8	7.4	13.7	5.8	12.0	13.0	13.0	16.1	7.0	3.0
大学4年生4月	5.1	4.2	5.6	4.0	6.9	2.2	8.8	6.4	4.8	4.2	6.2	3.9	4.0	1.5
大学4年生5月	4.7	3.3	3.5	3.3	7.6	6.3	8.2	0.5	4.4	8.4	2.7	6.5	7.5	0.8
大学4年生6月	3.4	2.6	0.7	2.8	5.0	-	7.1	-	3.6	5.6	2.8	1.3	4.4	1.5
大学4年生7月	2.7	1.9	2.1	1.9	4.1	-	5.8	1.5	2.4	3.5	3.4	1.0	2.4	3.8
大学4年生8月	3.3	3.2	2.5	3.3	3.6	4.2	3.3	3.9	3.5	4.0	1.2	3.1	7.5	3.0
大学4年生9月	2.2	1.9	2.1	1.8	2.8	3.3	2.6	3.9	2.3	0.2	2.4	4.8	2.0	1.5
大学4年生10月	1.6	2.2	1.4	2.3	0.4	0.4	0.4	-	1.9	0.2	1.0	5.2	5.1	0.8
大学4年生11月	1.4	1.6	2.2	1.5	1.1	0.4	1.4	-	1.0	3.2	0.8	4.3	1.1	1.5
大学4年生12月	0.9	1.2	2.1	1.0	0.3	0.4	0.2	-	1.1	1.7	0.6	-	-	1.5
大学4年生1月	0.4	0.5	2.1	0.2	0.3	-	0.4	-	0.7	-	0.4	0.8	-	3.8
大学4年生2月	0.5	0.7	1.8	0.6	-	-	-	-	0.8	-	0.6	-	-	3.8
大学4年生3月以降	1.3	1.0	0.3	1.1	1.8	4.7	0.6	3.1	1.4	0.3	0.9	-	4.3	57.1

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

図表30-2 インターンシップ・1day仕事体験に初めて参加した時期(単一回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース

	大学生	文系			理系	国公立		東北 北海道・	関東	中部	近畿	四国・ 中国	九州	大学院生
	(n=)	(858)	国公立 (106)	私立 (752)		(427)	国公立 (125)							私立 (302)
大学3年/大学院1年の5月以前	8.2	8.0	8.6	7.9	8.8	5.2	10.2	2.4	10.6	9.0	6.4	5.2	8.5	12.8
大学3年/大学院1年の6月頃	6.4	7.2	9.5	6.9	4.7	2.6	5.6	2.1	7.2	6.9	7.6	3.5	3.2	12.0
大学3年/大学院1年の7月頃	10.5	11.1	10.1	11.3	9.2	13.3	7.4	8.9	11.3	9.9	11.9	8.3	5.0	7.5
大学3年/大学院1年の8月頃	12.9	13.5	14.3	13.4	11.8	10.1	12.5	8.4	12.5	20.1	11.1	7.4	12.8	20.3
大学3年/大学院1年の9月頃	10.5	10.6	12.3	10.4	10.2	14.6	8.4	9.7	8.4	11.9	12.4	9.9	14.4	3.0
大学3年/大学院1年の10月頃	6.5	5.5	4.9	5.6	8.6	6.9	9.3	8.9	6.4	8.0	4.4	13.9	0.8	10.5
大学3年/大学院1年の11月頃	4.4	4.5	5.2	4.4	4.1	9.4	2.0	9.2	3.4	3.9	4.8	1.2	7.1	8.3
大学3年/大学院1年の12月頃	7.4	8.1	4.9	8.5	5.9	4.8	6.4	6.9	8.7	2.6	6.3	12.8	12.5	3.8
大学3年/大学院1年の1月頃	6.3	6.9	7.7	6.8	5.0	9.4	3.2	14.8	4.2	7.0	5.6	8.1	7.0	4.5
大学3年/大学院1年の2月頃	6.0	4.9	7.4	4.6	8.2	11.7	6.7	4.7	7.5	3.4	5.0	12.2	3.3	5.3
大学3年/大学院1年の3月頃	6.7	5.9	3.9	6.2	8.2	1.3	11.0	6.1	7.1	2.8	11.2	3.2	2.1	3.0
大学4年/大学院2年の4月頃	6.3	6.2	4.1	6.5	6.5	6.0	6.6	11.2	4.8	7.8	4.3	7.0	13.1	2.3
大学4年/大学院2年の5月頃	2.1	2.9	4.6	2.7	0.4	-	0.6	0.6	1.1	2.5	3.2	4.5	3.1	0.8
大学4年/大学院2年の6月頃	1.4	1.1	-	1.3	2.1	-	3.0	3.2	1.4	0.9	1.5	-	2.2	1.5
大学4年/大学院2年の7月頃	1.9	1.3	1.8	1.2	3.1	0.4	4.2	0.5	2.2	1.9	2.1	1.9	1.1	0.8
大学4年/大学院2年の8月頃	1.0	0.8	-	1.0	1.4	3.7	0.4	0.7	1.6	0.5	0.5	-	1.9	0.8
大学4年/大学院2年の9月頃	0.6	0.2	0.3	0.2	1.3	-	1.8	1.1	0.3	0.3	1.2	-	0.9	1.5
大学4年/大学院2年の10月頃	0.3	0.4	-	0.4	0.3	-	0.4	-	0.7	-	-	0.8	-	-
大学4年/大学院2年の11月以降	0.5	0.6	0.3	0.7	0.3	0.4	0.2	0.5	0.5	0.6	0.4	-	1.1	1.5

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

インターンシップ・1day仕事体験の認知きっかけは「就職情報サイト／就職情報アプリ／就職情報誌」の割合が最も高い。参加期間は、大学生・大学院生ともに「1日」の割合が最も高い。

インターンシップ・1day仕事体験を認知したきっかけは、大学生・大学院生ともに「就職情報サイト／就職情報アプリ／就職情報誌」の割合が最も高い。属性別にみると、理系の国公立大学生は「企業／官公庁／組織・団体等のサイト」の割合が最も高い。(図表31)

インターンシップ・1day仕事体験の参加期間は、大学生・大学院生ともに「1日」の割合が最も高く、次いで「半日」が高い。大学院生では大学生に比べて「1日」「2日」「3日以上5日未満」「5日以上2週間未満」の割合が高い。(図表32)

図表31 インターンシップ・1day仕事体験の認知きっかけ(複数回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース

	大学生 (n=)	文系 (858)	国公立 (106)	私立 (752)	理系 (427)	国公立 (125)	私立 (302)	東北 北海道 (104)	関東 (505)	中部 (232)	近畿 (296)	四国 中国 (76)	九州 (71)	大学院生 (133)
企業／官公庁／組織・団体等のサイト	30.6	29.4	35.7	28.5	33.0	43.0	28.8	36.6	30.4	25.5	32.8	33.3	27.8	44.4
大学	35.4	32.1	32.6	32.0	42.2	41.1	42.6	50.7	33.6	35.5	29.1	42.4	45.2	33.1
就職情報サイト／就職情報アプリ／就職情報誌	54.7	57.4	59.6	57.1	49.3	42.5	52.2	42.7	57.5	56.9	55.0	56.1	43.5	57.9
インターンシップ・1day仕事体験 斡旋団体(NPO含む)のサイト等	8.6	7.4	11.5	6.9	11.1	13.3	10.2	3.2	10.1	9.3	5.7	15.1	9.5	9.8
ソーシャルメディア(Facebook、 Twitter、LINE、Instagram等)	3.5	3.4	2.1	3.6	3.7	5.0	3.2	0.7	5.0	2.2	2.9	1.0	6.2	3.8
その他	1.3	0.9	2.4	0.7	1.9	3.0	1.5	0.7	1.0	1.2	0.9	5.0	1.6	1.5

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

図表32 インターンシップ・1day仕事体験の参加期間(複数回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース

	大学生 (n=)	文系 (858)	国公立 (106)	私立 (752)	理系 (427)	国公立 (125)	私立 (302)	東北 北海道 (104)	関東 (505)	中部 (232)	近畿 (296)	四国 中国 (76)	九州 (71)	大学院生 (133)
半日	46.6	50.6	52.1	50.3	38.7	27.1	43.6	50.2	51.2	40.4	43.4	47.2	42.0	47.4
1日	51.5	50.9	53.4	50.6	52.7	52.7	52.7	41.6	51.2	53.4	55.9	52.6	42.5	61.7
2日	19.7	20.5	27.3	19.6	18.1	28.3	13.8	16.1	24.1	18.9	17.0	10.7	17.4	36.8
3日以上5日未満	17.1	15.6	19.6	15.1	20.2	21.9	19.4	15.1	16.9	17.4	17.1	18.4	19.7	25.6
5日以上2週間未満	8.8	7.5	5.6	7.8	11.3	18.8	8.2	4.5	6.5	13.5	10.3	1.9	17.1	16.5
2週間以上2カ月未満	3.6	3.1	3.1	3.1	4.6	4.3	4.8	1.8	5.1	4.2	1.7	2.8	1.6	7.5
2カ月以上	3.4	3.8	1.0	4.2	2.7	-	3.8	-	4.1	2.4	3.9	4.3	4.6	7.5

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

インターンシップ・1day仕事体験先を選ぶ際の重視点は、大学生・大学院生ともに「業種」の割合が最も高い。

インターンシップ・1day仕事体験先を選ぶ際に重視した点は、大学生・大学院生ともに「業種」の割合が最も高い。

属性別にみると、文系の国公立大学生は「会場(地域・場所)」、大学院生は「企業名」の重視度が大学生全体に比べて高い。(図表33)

図表33 インターンシップ・1day仕事体験先を選ぶ際に重視した点(複数回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース

	大学生	文系		理系		北海道・東北	関東	中部	近畿	四国・中国	九州	大学院生		
	(n=)	(858)	国公立	私立	(427)								国公立	私立
業種	(1,285)	54.1	51.7	53.4	55.9	51.9	57.6	44.2	58.3	49.0	52.1	61.3	55.8	66.9
職種		45.0	41.7	43.6	48.1	42.8	50.3	36.1	46.5	42.6	46.2	49.7	44.7	54.9
会場(地域・場所)		30.4	40.8	28.5	31.1	35.2	29.4	26.5	26.2	34.0	33.9	36.2	33.6	28.6
インターンシップ・1day仕事体験内容		37.5	38.6	38.3	35.8	37.4	35.1	42.3	42.1	34.9	32.1	42.0	24.2	39.8
企業・各種団体等の規模		11.1	14.1	10.6	11.3	12.5	10.8	8.1	11.5	10.6	10.8	20.4	5.2	18.8
企業名		16.7	20.7	15.7	17.5	24.5	14.6	13.4	20.0	15.6	12.0	17.2	20.8	30.8
日程・期間		26.9	34.6	27.1	24.5	30.4	22.0	24.0	26.7	27.0	23.2	36.8	36.4	32.3
報酬		4.4	6.5	4.2	4.3	5.7	3.8	6.3	5.2	2.7	4.4	3.1	3.3	4.5
採用選考に直結するかどうか		13.8	13.5	15.1	11.5	11.1	11.7	6.7	18.5	12.7	11.9	8.1	7.2	16.5
その他		0.6	1.1	0.8	-	-	-	-	1.2	-	0.4	-	-	-

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

インターンシップ・1day仕事体験の参加目的は、大学生・大学院生ともに「業種理解」の割合が最も高い。

インターンシップ・1day仕事体験の参加目的は、大学生・大学院生ともに「業種理解」の割合が最も高い。

属性別にみると、文系の国公立大学生は「企業・各種団体等の事業内容理解」、大学院生は「業種理解」「仕事理解」の割合が大学生全体に比べて高い。(図表34)

図表34 インターンシップ・1day仕事体験の参加目的(複数回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース

	大学生 (n=)	文系		理系	理系		東北 北海道・	関東	中部	近畿	四国 中国・	九州	大学院生	
		国公立	私立		国公立	私立								
	(1,285)	(858)	(106)	(752)	(427)	(125)	(302)	(104)	(505)	(232)	(296)	(76)	(71)	(133)
業種理解	49.3	51.5	54.0	51.1	44.9	47.1	44.0	44.4	50.2	50.6	48.8	54.1	43.3	60.9
仕事理解	47.9	50.9	49.2	51.1	41.8	33.2	45.4	32.0	48.2	49.0	51.1	56.4	42.0	59.4
企業・各種団体等の 事業内容理解	29.1	29.9	36.5	29.0	27.6	26.3	28.2	35.7	30.1	26.1	28.5	26.5	27.8	39.1
企業・各種団体等・ 職場の雰囲気を知る	28.2	27.3	30.5	26.8	30.0	23.2	32.8	30.1	30.7	27.2	23.6	36.4	21.0	36.8
自分のスキルの見極め	14.5	11.6	8.4	12.0	20.3	19.7	20.5	11.8	18.0	14.7	8.0	17.2	16.1	21.8
自分自身のキャリア観 を明確にする	17.3	16.4	10.2	17.3	19.2	26.5	16.2	20.6	19.7	15.9	12.3	14.0	24.3	25.6
大学カリキュラムの 単位取得	7.5	6.8	4.5	7.1	9.0	10.9	8.2	6.5	7.4	8.3	6.4	10.3	8.5	3.0
内定獲得(採用直結)	19.1	18.9	20.4	18.7	19.6	25.1	17.3	20.1	22.5	17.9	18.5	9.6	10.0	24.1
社会人との人脈構築	6.4	6.0	6.0	6.0	7.2	4.9	8.1	11.0	8.6	4.6	2.5	7.9	4.3	6.0
他の就職活動生との人 脈構築	4.8	4.1	4.3	4.0	6.2	6.0	6.3	4.6	6.4	3.2	4.5	3.0	1.9	6.0
報酬	2.3	1.4	1.8	1.3	4.2	3.1	4.6	2.2	2.9	2.1	1.7	3.5	-	4.5
その他	0.2	0.2	-	0.2	0.3	0.4	0.2	0.5	0.2	-	0.2	-	1.1	0.8
特に意識していた目的 はなかった	10.7	11.3	7.7	11.8	9.4	7.3	10.3	3.7	9.3	14.4	12.5	8.4	13.1	7.5

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

インターンシップ・1day仕事体験の内容は、大学生・大学院生ともに「基幹的な業務の体験」の割合が最も高い。

インターンシップ・1day仕事体験の内容は、大学生・大学院生ともに「基幹的な業務の体験」の割合が最も高い。

属性別にみると、理系の国公立大学生は「補助的な業務の体験」、大学院生は「社員への質問会」「職場・工場見学」の割合が大学生全体に比べて高い。(図表35-1)

図表35-1 インターンシップ・1day仕事体験の内容(複数回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース

	大学生 (n=)	文系		理系	国公立		東北 北海道・	関東	中部	近畿	四国 中国・	九州	大学院生	
		(858)	国公立 (106)		私立 (752)	国公立 (125)								私立 (302)
基幹的な業務の体験	45.4	48.0	48.5	47.9	40.3	44.7	38.5	40.8	50.4	40.0	41.5	48.6	47.5	51.1
補助的な業務の体験	24.2	21.6	17.6	22.2	29.3	36.0	26.5	34.4	26.7	19.3	23.0	18.7	17.9	27.8
社員の業務への同席・同行	17.3	15.5	13.0	15.8	21.0	22.1	20.6	16.3	17.2	19.9	17.3	13.4	15.0	18.0
職場・工場見学	23.3	20.6	17.3	21.0	28.8	27.8	29.2	22.6	22.0	28.3	20.5	29.5	22.3	35.3
事業・業務説明	33.9	33.4	41.2	32.3	34.8	35.0	34.7	19.8	38.5	32.2	31.1	37.3	35.1	40.6
社員への質問会	32.5	32.6	39.3	31.7	32.2	30.9	32.7	32.4	36.4	29.4	27.4	39.8	28.2	46.6
就職活動の進め方の習得	15.4	16.4	17.8	16.2	13.6	12.0	14.3	9.6	16.9	16.4	12.8	17.3	19.4	16.5
自己分析	12.0	13.5	11.1	13.8	8.9	3.9	11.0	8.3	13.9	14.6	7.3	16.2	10.3	15.8
その他	0.4	0.5	0.7	0.5	0.1	0.4	-	0.3	0.5	0.3	0.4	-	0.8	1.5
覚えていない	10.5	11.1	9.6	11.3	9.4	6.0	10.7	5.8	8.0	16.4	10.7	8.3	18.1	10.5

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

**インターンシップ・1day仕事体験のうち、半日・1日のプログラム内容は、
大学生・大学院生ともに「基幹的な業務の体験」の割合が最も高い。**

インターンシップ・1day仕事体験のうち、半日・1日のプログラム内容は、大学生・大学院生ともに「基幹的な業務の体験」の割合が最も高い。

属性別にみると、理系の国公立大学生は「補助的な業務の体験」、大学院生は「社員への質問会」の割合が大学生全体に比べて高い。また、理系の私立大学生では「事業・業務説明」の割合が最も高い。(図表35-2)

図表35-2 インターンシップ・1day仕事体験のうち、半日・1日のプログラム内容(複数回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験内容を覚えている方かつ半日・1日のプログラム参加者ベース

	大学生	文系		理系		東 北 海 道	関 東	中 部	近 畿	四 国 ・ 中 国	九 州	大 学 院 生			
	(n=)	(887)	国 公 立	私 立	(291)								国 公 立	私 立	
基幹的な業務の体験	(887)	48.3	52.9	53.8	52.8	39.0	44.0	37.0	50.5	50.4	46.9	41.6	59.9	50.5	47.9
補助的な業務の体験		19.8	16.9	14.8	17.3	25.7	32.5	23.2	21.3	23.4	17.4	15.2	22.0	15.5	17.7
社員の業務への 同席・同行		12.3	10.5	10.0	10.5	16.2	13.6	17.1	14.9	12.8	13.4	10.8	2.6	19.2	13.5
職場・工場見学		19.8	16.3	12.3	16.9	26.8	17.2	30.5	10.9	18.8	26.8	18.4	31.6	13.4	21.9
事業・業務説明		34.8	34.3	42.7	33.1	35.8	24.2	40.2	16.2	39.4	34.5	30.9	41.3	41.9	42.7
社員への質問会		33.6	34.3	40.1	33.4	32.4	30.8	33.0	23.1	39.1	34.6	25.8	41.3	31.5	43.8
就職活動の進め方の 習得		11.6	12.9	14.5	12.7	8.8	2.8	11.1	2.7	11.7	19.6	11.0	3.0	12.0	10.4
自己分析		9.6	10.8	10.8	10.8	7.1	1.4	9.3	5.1	10.2	16.8	5.9	6.1	9.9	17.7
その他		0.4	0.4	-	0.4	0.4	0.7	0.3	-	0.2	0.5	0.7	-	1.2	-

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

インターンシップ・1day仕事体験のうち、5日以上のプログラム内容は、大学生・大学院生ともに「基幹的な業務の体験」の割合が最も高い。半日・1日のプログラム内容と比較し、大学生では「補助的な業務の体験」「社員の業務への同席・同行」の割合が高い。

インターンシップ・1day仕事体験のうち、5日以上のプログラム内容は、大学生・大学院生ともに「基幹的な業務の体験」の割合が最も高い。半日・1日のプログラム内容と比較し、大学生では「補助的な業務の体験」「社員の業務への同席・同行」の割合が高い。特に理系大学生で割合が高い。(図表35-3)

図表35-3 インターンシップ・1day仕事体験のうち、5日以上のプログラム内容(複数回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験内容を覚えている方かつ5日以上のプログラム参加者ベース

	大学生	文系		理系		東北 北海道	関東	中部	近畿	四国 中国	九州	大学院生		
	(n)	(97)	国立	私立	(62)								国立	私立
	(159)	(97)	(9)	(89)	(62)	(24)	(38)	(5)	(68)	(30)	(40)	(6)	(10)	(32)
基幹的な業務の体験	43.1	40.6	28.6	41.8	47.1	39.1	52.1	28.2	37.1	48.2	50.5	22.9	59.1	68.8
補助的な業務の体験	36.3	31.5	33.7	31.3	43.8	35.5	49.0	53.6	46.9	32.7	20.3	16.0	43.6	40.6
社員の業務への同席・同行	24.6	20.8	12.2	21.7	30.5	35.1	27.6	43.8	20.0	24.0	26.8	22.9	40.1	18.8
職場・工場見学	17.5	14.2	-	15.6	22.7	38.8	12.7	28.2	17.2	29.7	2.9	-	46.5	31.3
事業・業務説明	18.4	17.9	12.2	18.4	19.2	24.8	15.8	28.2	21.4	24.1	11.4	-	15.4	53.1
社員への質問会	17.4	23.2	47.0	20.8	8.3	16.4	3.3	28.2	16.4	24.2	13.9	18.3	11.9	43.8
就職活動の進め方の習得	9.4	11.0	4.1	11.6	7.0	13.7	2.9	15.6	11.7	5.1	9.2	-	11.1	6.3
自己分析	9.3	11.9	8.2	12.2	5.2	13.7	-	15.6	8.2	5.1	9.2	53.1	-	6.3
その他	3.3	4.3	4.1	4.3	1.8	2.3	1.5	18.1	3.9	2.6	0.9	-	5.5	3.1

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

(回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満の値は灰色にした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

インターンシップ・1day仕事体験に参加してよかった点は、大学生・大学院生ともに「業種について具体的に知ることができた」の割合が最も高い。

インターンシップ・1day仕事体験に参加してよかった点は、大学生・大学院生ともに「業種について具体的に知ることができた」の割合が最も高い。

属性別にみると、文系・理系問わず国公立大学生は「企業・各種団体等の事業内容を具体的に知ることができた」、大学院生は「企業・各種団体等の事業内容を具体的に知ることができた」「仕事内容を具体的に知ることができた」の割合が大学生全体に比べて高い。(図表36)

図表36 インターンシップ・1day仕事体験に参加してよかった点(複数回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース

	大学生 (n=)	文系		理系	理系		東北 北海道	関東	中部	近畿	四国 中国	九州	大学院生	
		(858)	国公立 (106)		私立 (752)	(427)								国公立 (125)
業種について具体的に知ることができた	51.7	52.2	48.1	52.7	50.8	53.1	49.9	45.4	57.3	52.4	42.2	58.9	51.4	59.4
仕事内容を具体的に知ることができた	42.7	42.8	44.6	42.6	42.5	44.7	41.5	33.2	47.2	42.3	39.9	42.2	38.4	53.4
企業・各種団体等の事業内容を具体的に知ることができた	28.8	29.4	34.6	28.7	27.7	33.9	25.1	32.2	28.6	30.8	26.4	36.2	21.9	42.1
企業・各種団体等・職場の雰囲気を知ることができた	26.4	25.2	24.7	25.3	28.9	23.9	31.0	15.8	30.8	29.3	21.6	30.6	17.8	34.6
自分のスキルを見極めることができた	15.4	14.4	14.0	14.4	17.3	12.4	19.4	16.1	14.4	11.5	20.6	12.9	14.7	19.5
自分自身のキャリア観を明らかにすることができた	15.2	15.1	13.5	15.4	15.2	15.9	14.9	8.3	17.2	15.6	12.6	21.6	13.0	21.1
インターンシップ・1day仕事体験に参加した企業・各種団体等から内定取得できた	12.8	11.8	11.1	11.8	14.8	12.1	16.0	14.4	15.1	13.6	9.6	10.3	7.0	15.0
社会人との人脈を作れた	7.0	6.5	5.6	6.6	8.1	6.1	8.9	7.7	8.4	7.1	5.1	7.8	3.0	4.5
他の就職活動中の学生との人脈を作れた	5.1	3.8	2.8	3.9	7.6	9.3	6.9	1.8	7.7	3.8	3.8	1.5	4.6	6.8
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特になし	14.8	16.0	14.1	16.2	12.5	9.9	13.6	9.5	12.8	15.0	20.7	6.8	19.8	9.8

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

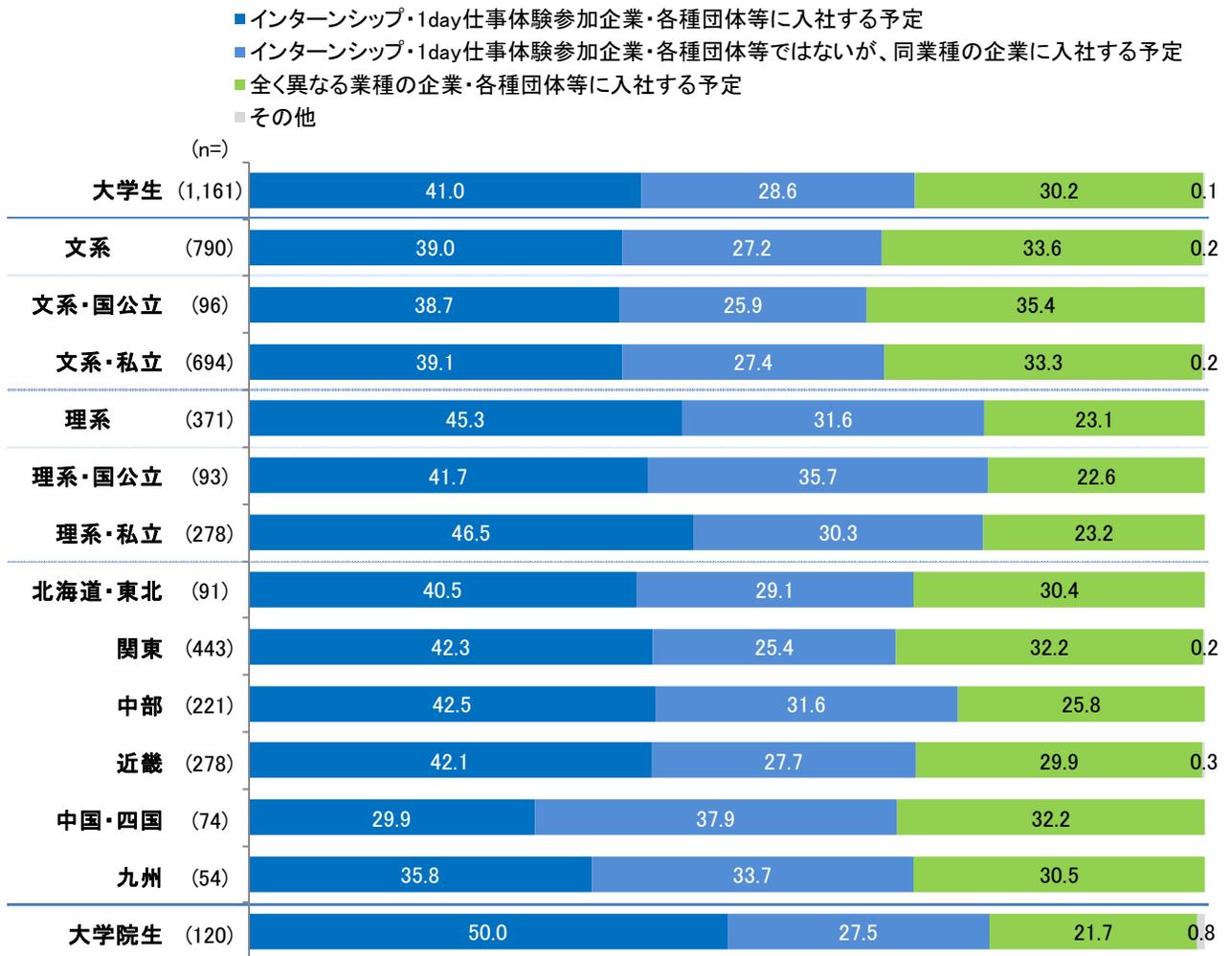
⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

**インターンシップ・1day仕事体験で参加した企業への入社予定は、大学生は4割前半。
理系大学生では、8割弱がインターンシップ・1day仕事体験参加企業または同業種の企業に入社。**

インターンシップ・1day仕事体験で参加した企業／同業種の企業への入社予定は、大学生は「インターンシップ・1day仕事体験参加企業・各種団体等に入社する予定」が4割前半で最も高い。

属性別にみると、理系大学生では「インターンシップ・1day仕事体験参加企業・各種団体等に入社する予定」「インターンシップ・1day仕事体験参加企業・各種団体等ではないが、同業種の企業に入社する予定」合わせて8割弱。大学院生は「インターンシップ・1day仕事体験参加企業・各種団体等に入社する予定」が5割であり、大学生よりも高い。(図表37)

図表37 インターンシップ・1day仕事体験で参加した企業／同業種の企業への入社予定(単一回答、単位=%)
※就職確定者で、インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース



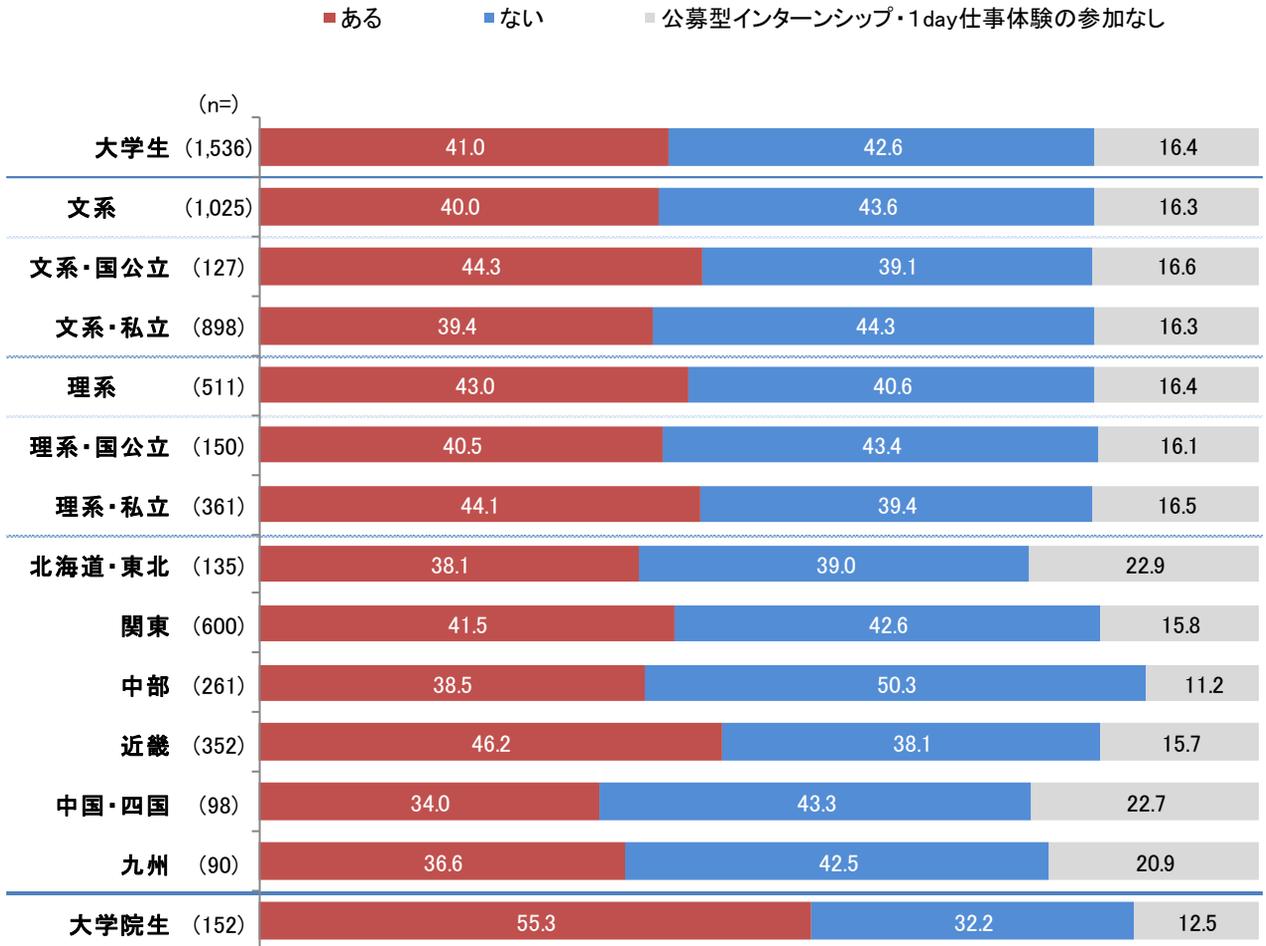
⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

インターンシップ・1day仕事体験と学業の日程の重複経験は、大学生の4割前半が「ある」。大学院生は「ある」の割合が高い。

インターンシップ・1day仕事体験と学業の日程が重複した経験は、大学生の4割前半が「ある」と回答している。

属性別にみると、大学生では大きな差はないが、大学院生では5割半ばと高くなっている。(図表38)

図表38 インターンシップ・1day仕事体験と学業の日程が重複した経験(単一回答、単位=%)



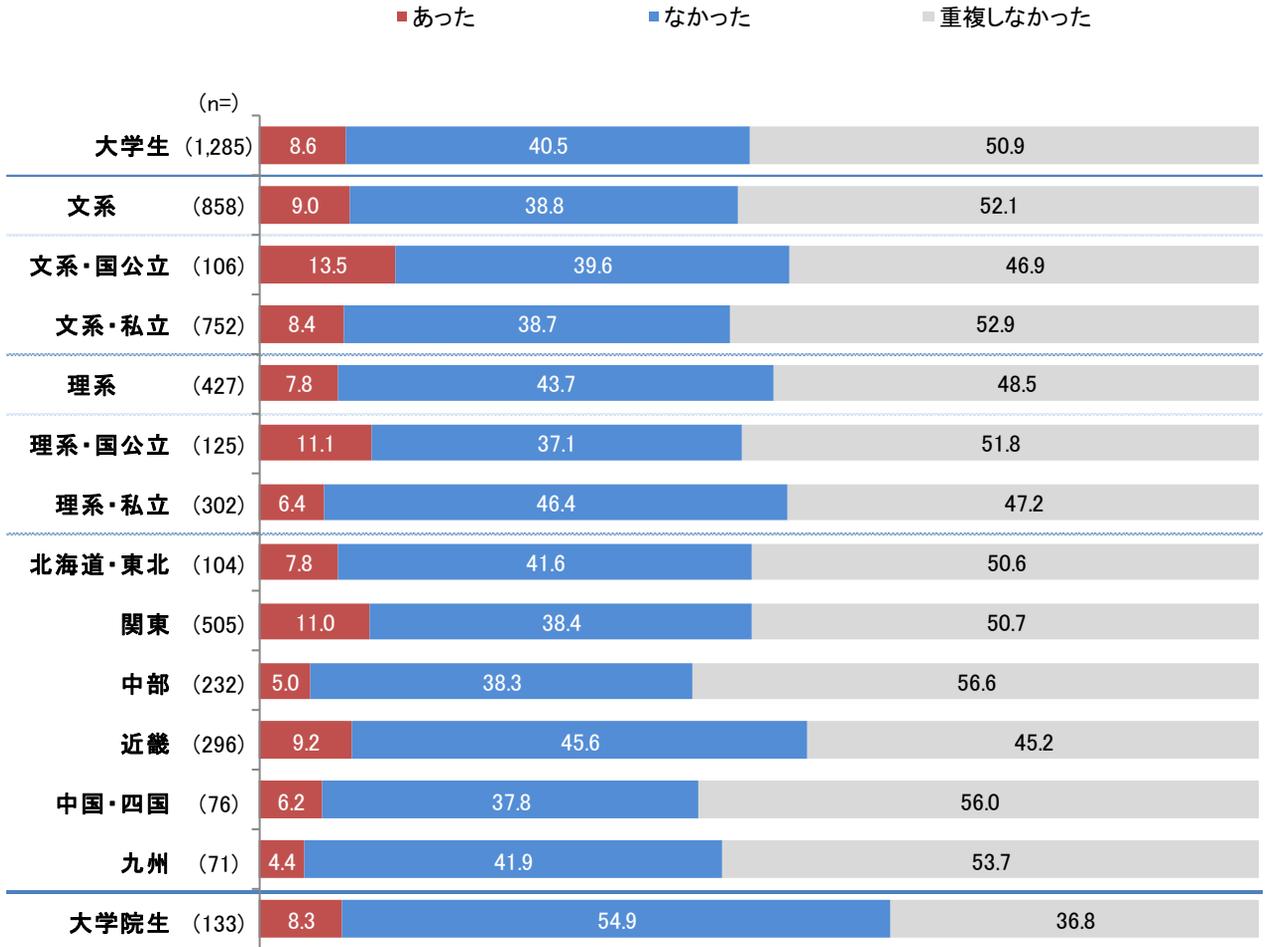
⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

インターンシップ・1day仕事体験と学業の日程が重複したことで学業への支障が「あった」の割合は、大学生・大学院生ともに1割未満と低い。

インターンシップ・1day仕事体験と学業の日程が重複したことで学業への支障が「あった」の割合は、大学生・大学院生ともに1割未満。

属性別にみると、文系・理系問わず国公立大学生では、「あった」が1割を超えていてやや高い。(図表39)

図表39 インターンシップ・1day仕事体験と学業の日程が重複したことで学業への支障があったか(単一回答、単位=%)
※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース



⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

学業と日程が重複したインターンシップ・1day仕事体験の開催時期は、属性に関わらず「学期期間(平日)」の割合が最も高い。

学業と日程が重複したインターンシップ・1day仕事体験の開催時期は、属性に関わらず「学期期間(平日)」の割合が最も高い。

属性別にみると、文系大学生と比べて理系大学生は「学期期間(休日)」の割合が10ポイント以上高い。(図表40)

図表40 学業と日程が重複したインターンシップ・1day仕事体験の開催時期(複数回答、単位=%)

※学業の日程とインターンシップ・1day仕事体験が重複した方ベース

n=		学期期間(平日)	学期期間(休日)	休暇期間(夏季休暇、冬季休暇など)
大学生	630	85.2	23.6	14.2
文系	411	84.4	19.7	13.1
国公立	56	81.9	25.7	12.5
私立	354	84.7	18.8	13.2
理系	220	86.7	30.8	16.3
国公立	61	84.7	34.0	9.9
私立	159	87.5	29.5	18.8
北海道・東北	52	83.8	23.8	4.9
関東	249	86.6	22.7	19.2
中部	101	84.8	17.0	11.6
近畿	163	82.5	28.2	13.6
中国・四国	33	96.2	31.4	10.9
九州	33	79.8	19.4	6.0
大学院生	84	86.9	25.0	19.0

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

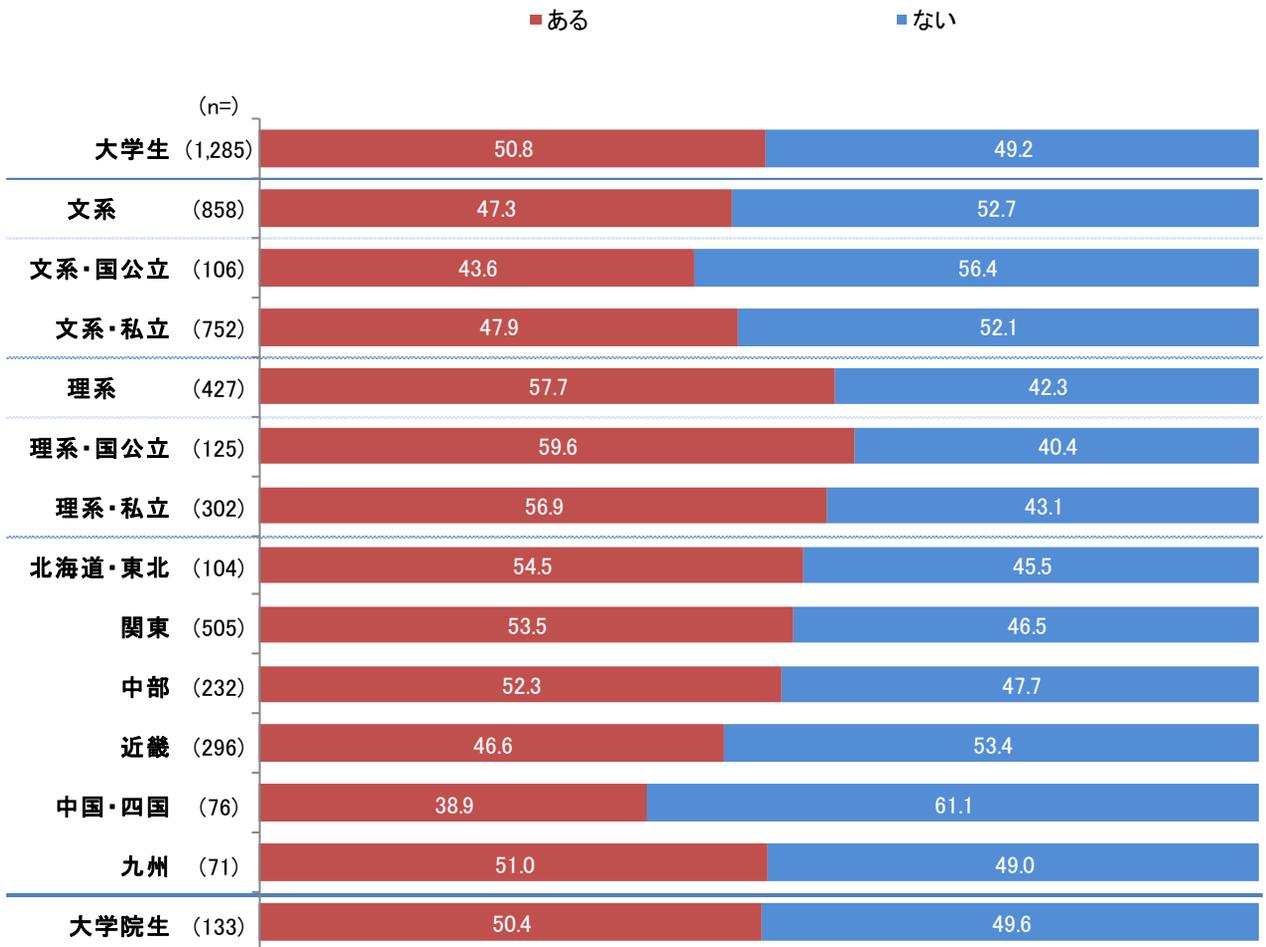
インターンシップ・1day仕事体験における就業体験は、大学生・大学院生ともに参加者の約5割が「ある」と回答している。

インターンシップ・1day仕事体験における就業体験(企業の実務を体験すること)は、大学生・大学院生ともに参加者の約5割が「ある」と回答している。

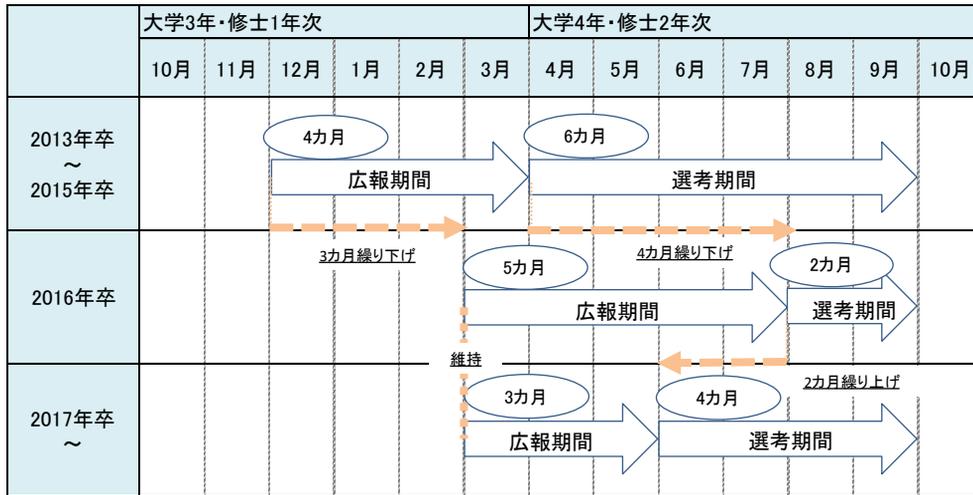
属性別にみると、文系大学生と比べて理系大学生は「ある」の割合が10ポイント以上高い。(図表41)

図表41 インターンシップ・1day仕事体験での就業体験(企業の実務を体験すること)有無(単一回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース



●2013年卒以降のスケジュール変更の詳細



●調査備考

《地域区分の内訳》

- 北海道・東北＝ 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東＝ 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- 中部＝ 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
- 近畿＝ 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 中国・四国＝ 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州＝ 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

《調査集計の留意点》

％を表示する際に小数第2位で四捨五入しているため、％の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある。

●公益社団法人全国求人情報協会とは

公益社団法人全国求人情報協会(理事長:鈴木 孝二 略称:全求協)は、1985年2月に設立。全国の求人サイト・求人情報誌・折込求人紙を運営・発行する61社の会員で構成されており、自主規制のための掲載基準作成、求人情報に関する苦情・相談業務や調査・研究などの活動を実施。

●新卒等若年雇用部会とは

新卒等若年雇用を巡る問題が我が国の労働市場における大きな課題となる中、その課題に取り組むための専門部会として、2013年に「新卒等若年雇用部会」を設置。マッチングの高度化を通じ、よりよい就職・採用がスムーズに行われるよう、とりわけ集团的就職活動特有の課題をまとめ、さまざまなアクションプラン等を検討、実行している。

●公益社団法人全国求人情報協会 新卒等若年雇用部会 会員企業 (社名五十音順)

株式会社アクセスネクステージ、株式会社イフ、株式会社学情、株式会社KG情報、株式会社広済堂HRソリューションズ、株式会社ジェイ・ブロード、株式会社ダイヤモンド・ヒューマンリソース、株式会社ディスコ、株式会社文化放送キャリアパートナーズ、株式会社北海道アルバイト情報社、株式会社マイナビ、株式会社リクルート